

令和2年度 調査報告書

2021

札幌市教育委員会

令和2年度 調査報告書

2021

札幌市教育委員会

例 言

- 1 本書は、札幌市教育委員会が、国庫補助金（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）を受けて、令和2年度に実施した市内遺跡発掘調査等事業等に係わる調査報告書である。
- 2 事業期間は、令和2年4月8日～令和3年3月31日である。
- 3 令和2年度には、市内遺跡発掘調査等事業として、市内で計画される各種の開発事業に先立ち、埋蔵文化財包蔵地の保存・保護を図る資料とするため所在調査5件、試掘調査20件を実施した。
- 4 調査業務は、札幌市市民文化局文化部文化財課が担当し、仙庭伸久・秋山洋司・小針大志・野月寿彦・田中 亮が従事した。
- 5 本書の執筆・編集は、札幌市市民文化局文化部文化財課の田中、秋山が行った。
- 6 本書は、所在・試掘調査及び工事立会を実施したすべての地区について一覧表・位置図に掲載するとともに、それらの調査結果についてその概要を報告するものである。
- 7 本書では、位置図の背景として、札幌市共有基図（平成25年度版）を使用した。
- 8 本書では、各調査実施箇所背景として、札幌市が所有する航空写真データ（平成22年度撮影版）を使用した。
- 9 調査で発見した資料は、札幌市市民文化局文化部文化財課で保管している。

凡 例

- 1 各調査の項目、挿表、挿図、写真図版に付した整理番号は、各種開発事業に係わる協議毎に札幌市で任意に付した整理番号である。
- 2 所在・試掘調査位置図に示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び可能性地の範囲は、令和3年1月31日現在のものである。
- 3 試掘坑の土層断面模式図は、各調査の内容を把握するために必要となる代表的な試掘坑の土層断面を抜粋し掲載したものである。
- 4 土層断面模式図及び遺構断面図では、黒色ないし黒褐色を呈する土層及び被熱した土層（火床）に30%の網掛けを、暗褐色ないし暗灰色を呈する土層に15%の網掛けを施した。また、遺物が出土した試掘坑では、出土した層の横に「土器▶」等と、炭化物を含む層については、層の横に「炭化物▶」と記載した。
- 5 試掘調査実施箇所における調査対象範囲を白枠で、また、すべての試掘坑を白塗りで表示した。
- 6 本文中、挿図及び挿表で使用した遺構等の略号は、下記のとおりである。
HP(House Pit)：竪穴住居跡、PT(Pit)：土坑、PH(Post Hole)：柱穴、FU(Furnace)：カマド、
HE(Hearth)：炉跡、DB(Dense Burned Soils)：焼土粒集中、TT(Test Trench)：試掘坑
- 7 本報告書で用いた北（N）方位は、すべて真北である。
- 8 挿図の縮尺は、個々にスケールを入れて示した。縮尺率は下記のとおりである。
試掘調査実施箇所：1/1000、1/2000、1/2500、1/5000、1/10000
土層断面模式図、遺構実測図等：1/40、1/60、1/100
- 9 写真図版の縮尺は、現場写真については任意で、遺物写真については2/3、1/3、1/4である。

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 所在調査	1
第3章 試掘調査	7
第4章 工事立会	32

挿図目次

第1図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(1)	2	第12図 整理番号20-3-307試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	18
第2図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(2)	3	第13図 整理番号19-2-315試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	19
第3図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(3)	4	第14図 整理番号20-2-301試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	19
第4図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(4)	5	第15図 整理番号20-2-305試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	20
第5図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(5)	5	第16図 整理番号20-2-306試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	20
第6図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(6)	6	第17図 整理番号20-2-306竪穴住居跡 及び付属遺構実測図	21
第7図 整理番号14-3-312試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	13	第18図 整理番号20-2-307試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	22
第8図 整理番号15-3-322試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	14	第19図 整理番号20-2-308試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	22
第9図 整理番号19-3-314試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	15	第20図 整理番号20-2-309試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	23
第10図 整理番号20-3-305試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	16	第21図 整理番号20-2-310試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	23
第11図 整理番号20-3-306試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	17	第22図 整理番号20-2-310遺構配置図	24
		第23図 整理番号20-2-310土坑実測図(1)	24

第24図	整理番号20-2-310土坑実測図(2)	25	第31図	整理番号20-2-315試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	30
第25図	整理番号20-2-310土坑実測図(3)	26	第32図	整理番号20-2-317試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	31
第26図	整理番号20-2-310土坑実測図(4)	27	第33図	整理番号20-2-318試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	31
第27図	整理番号20-2-310炉跡実測図	28	第34図	整理番号19-2-313工事立会実施箇所 及び土層断面模式図	33
第28図	整理番号20-2-311試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	28			
第29図	整理番号20-2-313試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	29			
第30図	整理番号20-2-314試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	30			

挿表目次

第1表	令和2年度所在調査一覧	1	第4表	令和2年度工事立会一覧	34
第2表	令和2年度試掘調査一覧	12		報告書抄録	59
第3表	整理番号20-2-310遺構属性及び 遺物集計表	27			

図版目次

図版1	所在調査	35	図版13	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(4)	47
図版2	整理番号14-3-312 試掘調査	36	図版14	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(5)	48
	整理番号15-3-322 試掘調査	36	図版15	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(6)	49
図版3	整理番号19-3-314 試掘調査	37	図版16	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(7)	50
	整理番号20-3-305 試掘調査	37	図版17	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(8)	51
図版4	整理番号20-3-306 試掘調査	38	図版18	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(9)	52
	整理番号20-3-307 試掘調査	38	図版19	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(10)	53
図版5	整理番号19-2-315 試掘調査	39	図版20	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(11)	54
	整理番号20-2-301 試掘調査	39	図版21	整理番号20-2-311 試掘調査	55
図版6	整理番号20-2-305 試掘調査	40		整理番号20-2-313 試掘調査	55
	整理番号20-2-306 試掘調査・工事立会(1)	40	図版22	整理番号20-2-314 試掘調査	56
図版7	整理番号20-2-306 試掘調査・工事立会(2)	41	図版23	整理番号20-2-315 試掘調査	56
図版8	整理番号20-2-306 試掘調査・工事立会(3)	42		整理番号20-2-317 試掘調査	57
	整理番号20-2-307 試掘調査	42		整理番号20-2-318 試掘調査	57
図版9	整理番号20-2-308 試掘調査	43	図版24	整理番号19-2-313 工事立会	58
	整理番号20-2-309 試掘調査	43			
図版10	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(1)	44			
図版11	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(2)	45			
図版12	整理番号20-2-310 試掘調査・工事立会(3)	46			

第1章 調査に至る経緯

札幌市市民文化局文化部文化財課（以下「文化財課」）では、公共工事担当部局と緊密な連絡・調整を行い、埋蔵文化財の保護と円滑な公共工事の推進との調和を図るために、札幌市工事担当部局に対して文書で照会し、回答を受けた事業計画については、埋蔵文化財包蔵地分布図等と照合を行っている。照合の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地内で計画されている事業については、事業計画段階で埋蔵文化財に関する事前の協議が必要である旨を通知し、また、周知の埋蔵文化財包蔵地の隣接地で計画されている事業、おおむね10,000㎡以上の大規模な土木工事等が計画されている事業（以下「大規模開発」）、既往の調査成果から今後も新たな埋蔵文化財が発見される可能性が高いものと考えられる琴似川流域、伏籠川流域、モエレ沼周辺の「埋蔵文化財が発見される可能性が高い地区」（以下「可能性地」）で計画されている事業について、事業計画段階で埋蔵文化財に関する事前の協議を行うことが望ましいものと回答している。令和2年度の公共事業に伴う「埋蔵文化財保護のための事前協議について」（以下「事前協議書」）の提出件数は、令和3年1月31日現在で29件（うち道路等管路工事12件）である。

民間事業については、公共事業における埋蔵文化財保護のための取扱いに準じ、文化財課が各種の開発事業計画との調整を行っている。令和2年度の民間事業に伴う調整協議書の提出件数は、令和3年1月31日現在で24件（うち道路等管路工事6件）である。

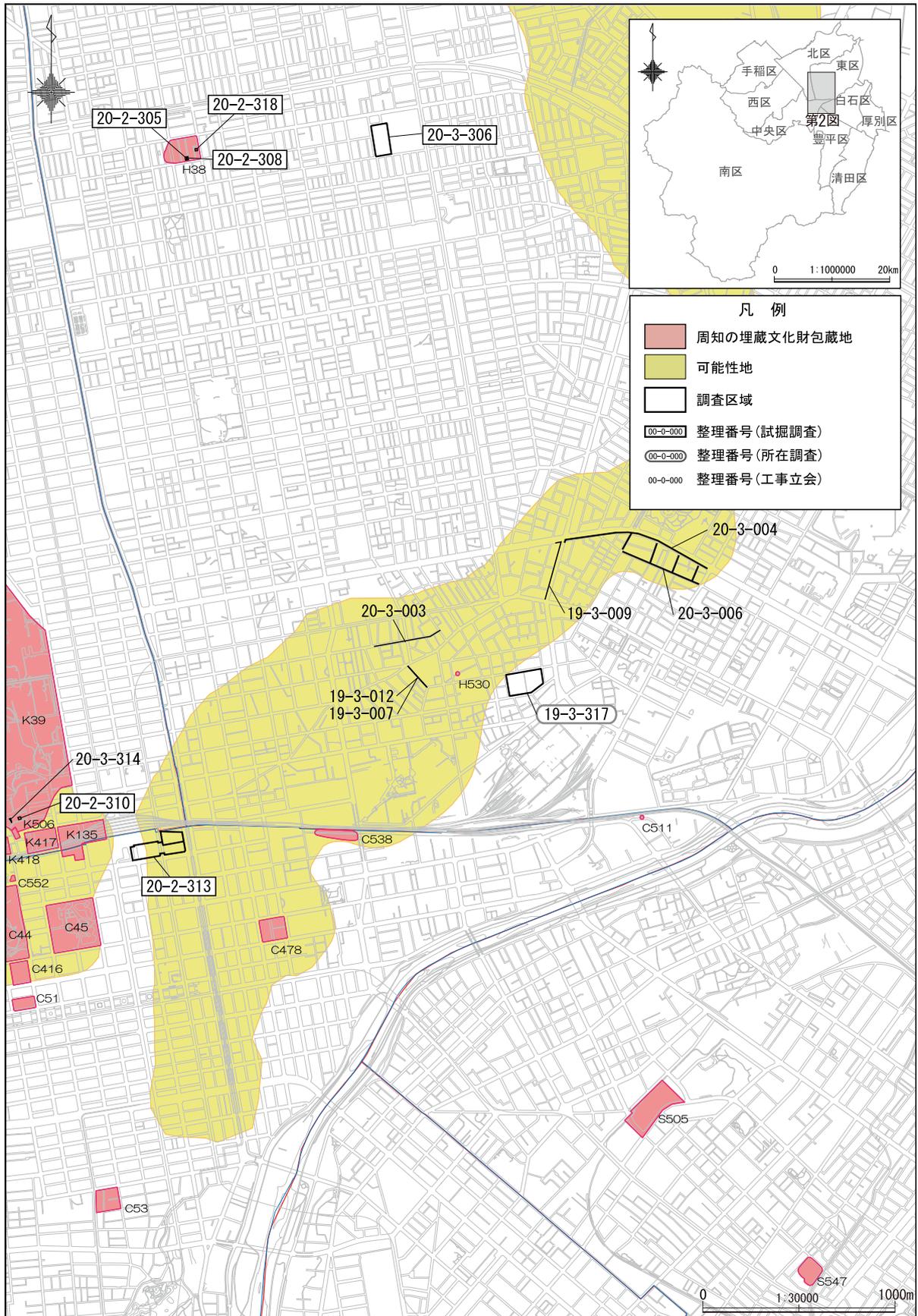
第2章 所在調査

令和2年度に実施した所在調査は5件であり、調査対象面積は約291,106㎡であった。所在調査の一覧を第1表として、所在調査の実施位置を第1～4・6図に掲載した。

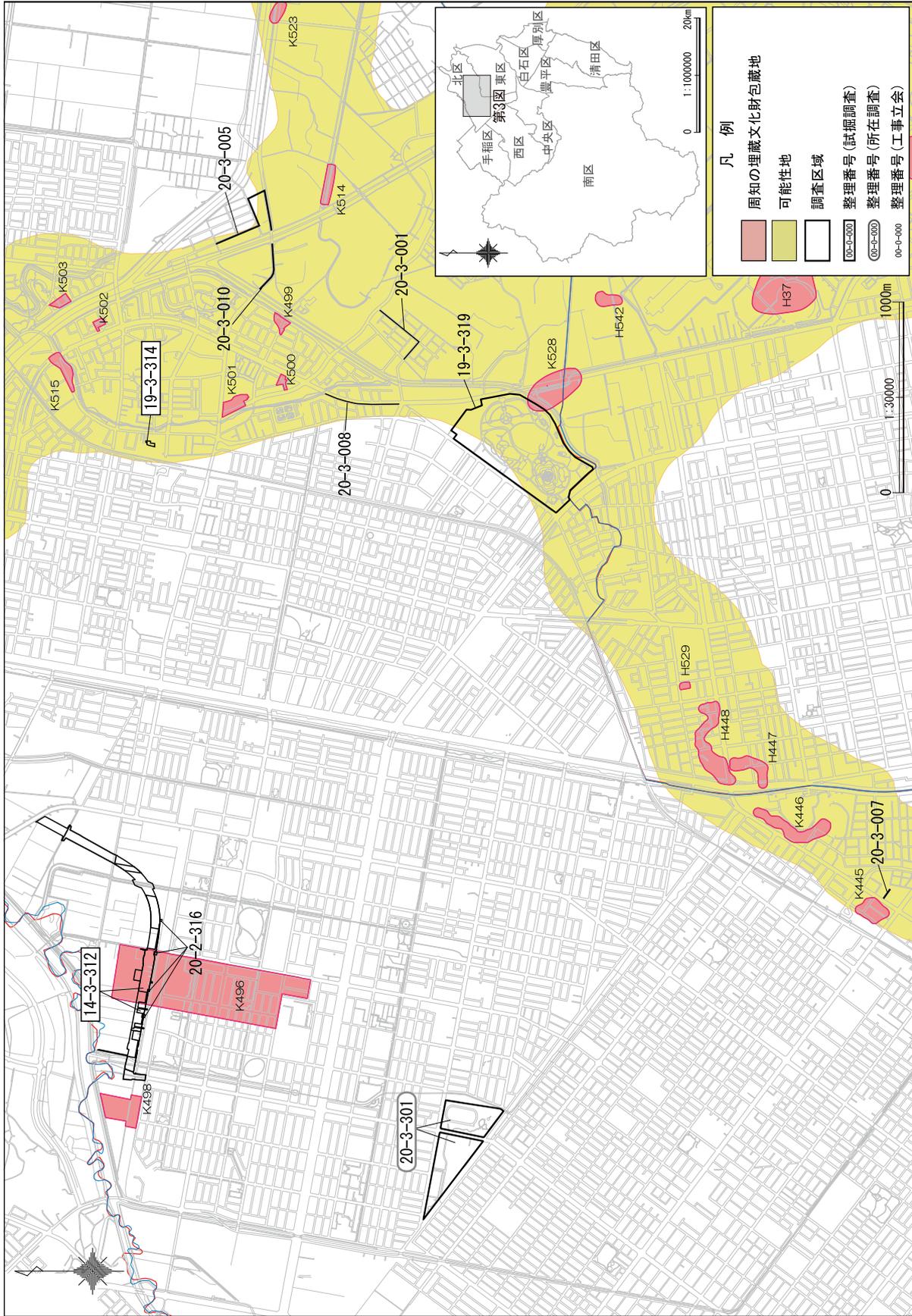
事業の内訳は公共事業5件であり、すべて大規模開発に該当する事業であった。これらの事業に伴う所在調査の結果、新たな埋蔵文化財包蔵地は確認されず、すべて工事に着手して差し支えないものと判断された。

第1表 令和2年度所在調査一覧

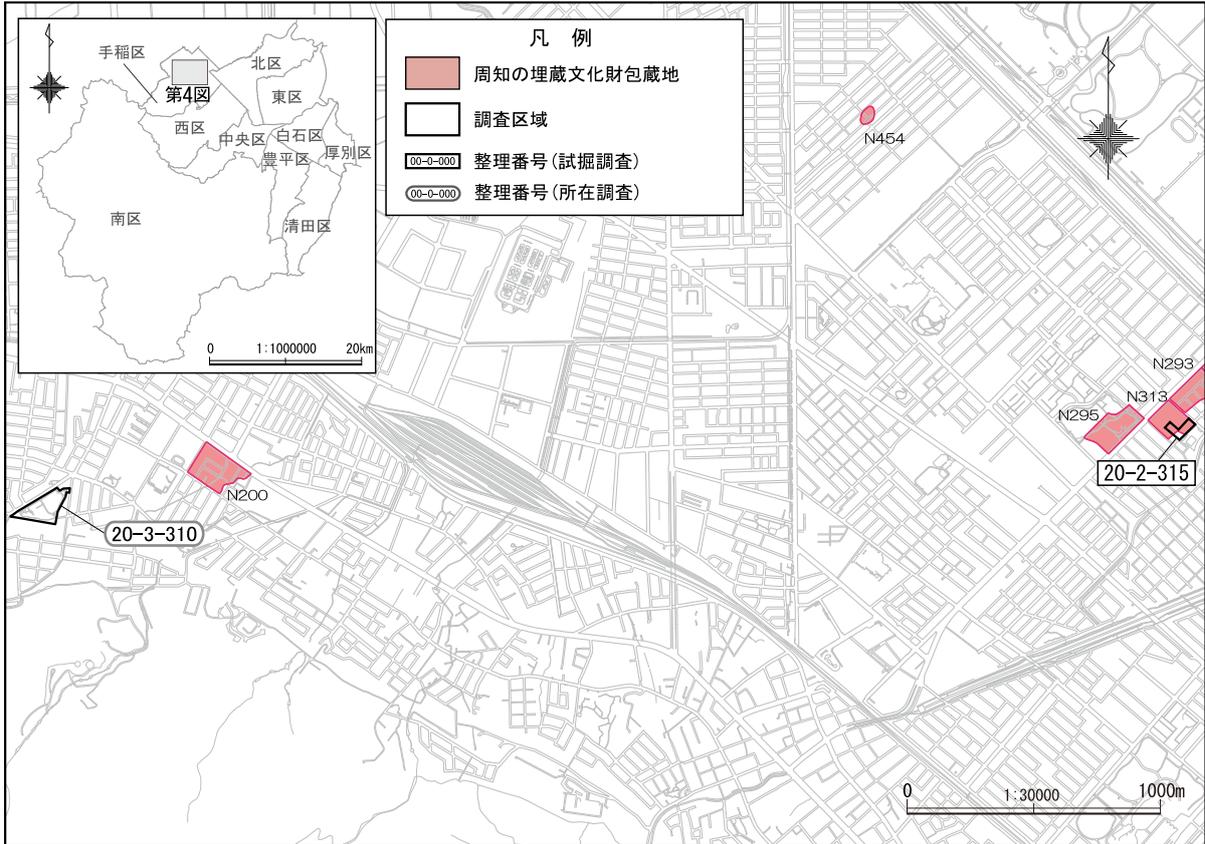
通し番号	整理番号	周知の埋蔵文化財包蔵地	所在地	調査面積(㎡)	事業者	事業種別	調査後措置
1	19-3-315	周知外 (大規模開発)	札幌市西区八軒4条6丁目ほか	123,667.00	札幌市	公園造成	工事着手可
2	19-3-317	周知外 (大規模開発)	札幌市東区北9条東14丁目ほか	20,322.00	札幌市	公園造成	工事着手可
3	19-3-318	周知外 (大規模開発)	札幌市豊平区西岡3条10丁目	18,446.00	札幌市	公園造成	工事着手可
4	20-3-301	周知外 (大規模開発)	札幌市北区屯田4条10丁目ほか	112,872.00	札幌市	公園造成	工事着手可
5	20-3-310	周知外 (大規模開発)	札幌市手稲区金山2条2丁目	15,799.00	札幌市	公園造成	工事着手可



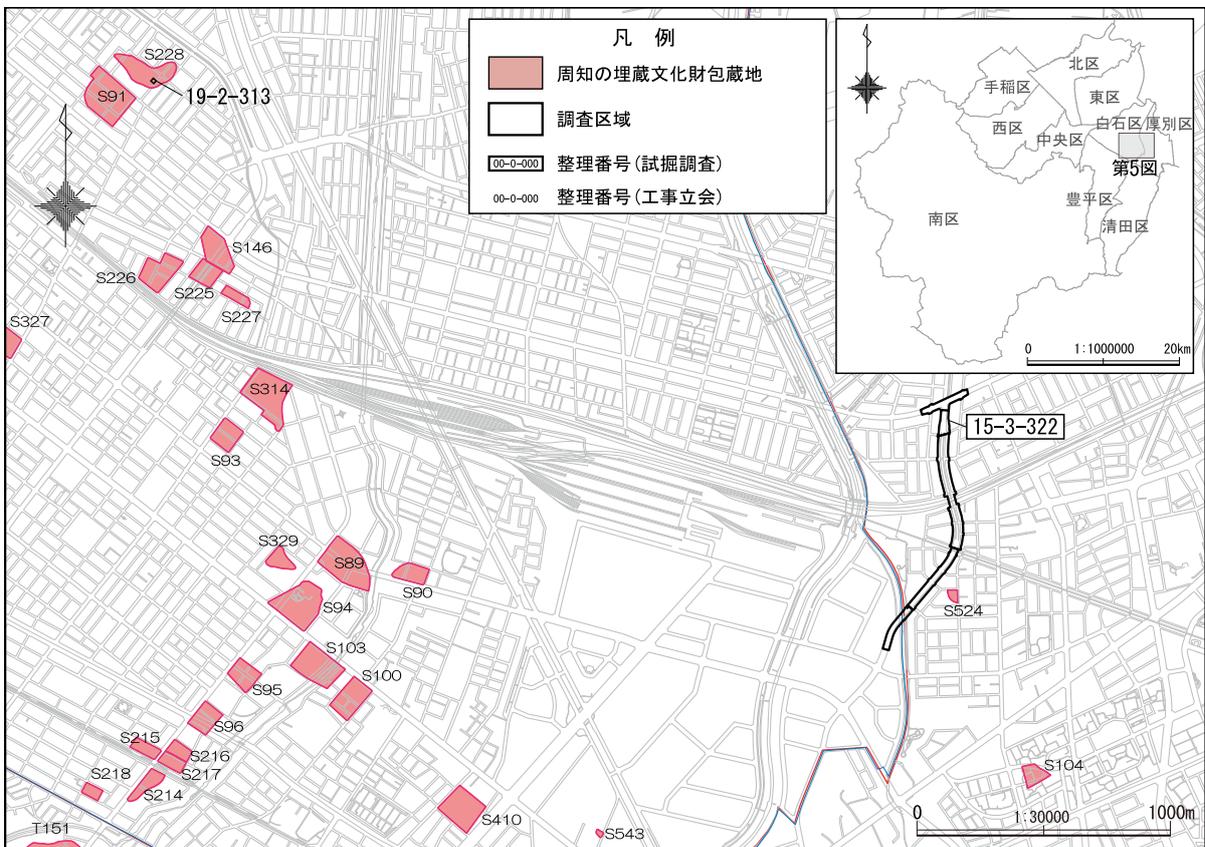
第2図 所在・試掘調査及び工事立会位置図(2)



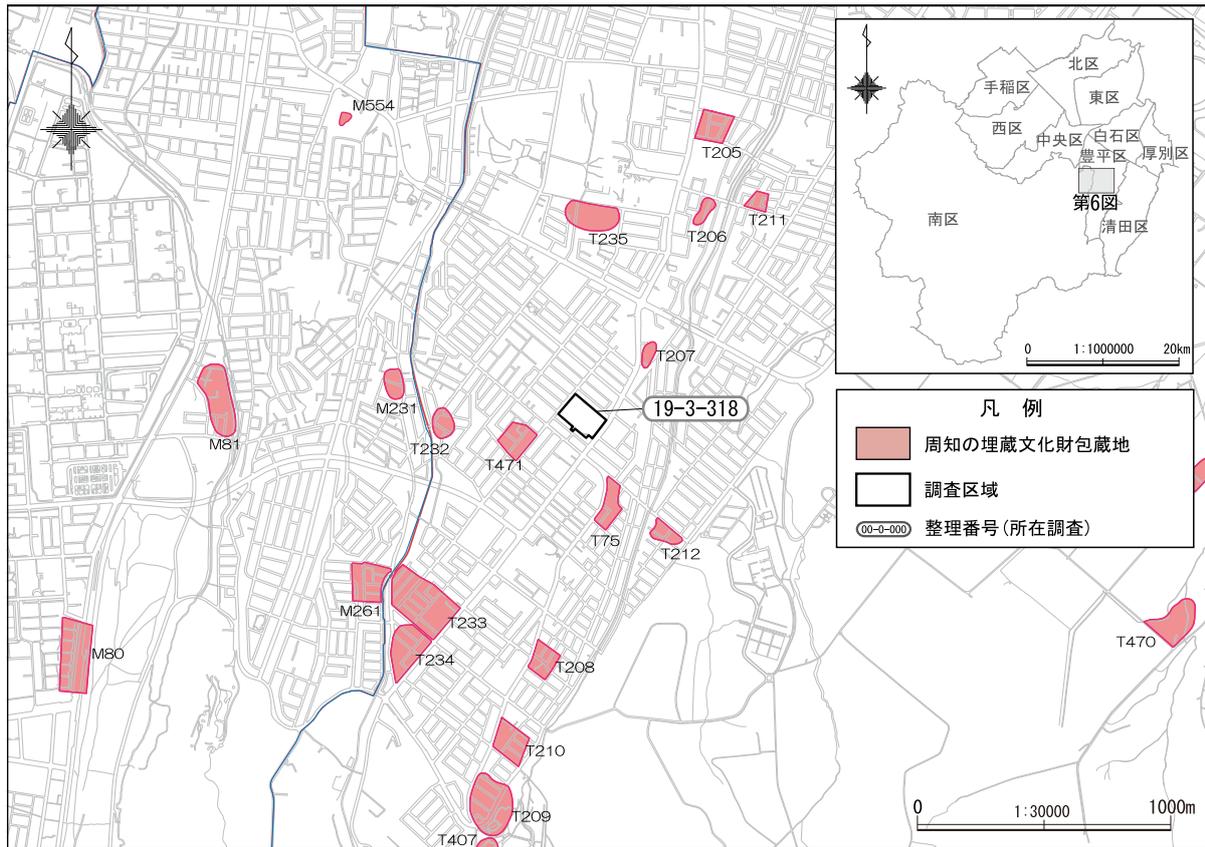
第3図 所在・試掘調査及び工事立会位置図(3)



第4図 所在・試掘調査及び工事立会位置図(4)



第5図 所在・試掘調査及び工事立会位置図(5)



第 6 図 所在・試掘調査及び工事立会位置図 (6)

第3章 試掘調査

令和2年度に実施した試掘調査は20件であり、調査対象面積は約108,465㎡であった。試掘調査の成果は一覧を第2表に、試掘調査の実施位置を第1～5図に掲載した。

事業の内訳は、公共事業6件、民間事業14件(会社組織5件、法人組織3件、組合組織1件、個人5件)であり、このうち協議から調査の段階で周知の埋蔵文化財包蔵地に該当する事業が14件、可能性地に該当する事業が2件、大規模開発に該当する事業が4件であった。以下では、試掘調査の結果、令和2年度の試掘調査では埋蔵文化財は発見されなかったものの、過去の試掘調査において埋蔵文化財が発見され、発掘調査が必要と判断された事業1件と、埋蔵文化財が発見された事業2件について概要を示す。その他の事業については、埋蔵文化財が発見されなかったことから、周知の埋蔵文化財包蔵地に該当する事業については、調査後措置として慎重工事を求めることとなり、可能性地、大規模開発に該当する事業については、工事に着手して差し支えないものと判断された。

1 K496 遺跡：整理番号 14-3-312 (第3・7図、図版2A～D)

事業地は、札幌市北区屯田町～北区西茨戸にかけて所在し、中央部の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地 K496 遺跡の北部に位置している。地形的には発寒川の右岸に広がる沖積低地に立地する。昭和29年の航空写真では、事業地の北約350mに発寒川の旧流路が確認できる。

本事業地においては、平成29年度に1次試掘及び2次試掘(小針・野月2018)、平成30年度に3次試掘(野月・小針2019)、令和元年度に4次試掘(野月2020)を実施している。4次試掘では、周知の埋蔵文化財包蔵地 K496 遺跡に該当する TT73-55 で、現地表下 -0.3m に位置する褐灰色粘土層から土器10点と礫1点が、TT74-54 で、現地表下 -0.4m に位置する褐灰色粘土層から剥片石器1点が発見されている。なお、土器は、型式学的特徴から続縄文文化期に相当するものと考えられる。これらの試掘坑では、遺物包含層が窪地へ向かい傾斜して堆積している状況が認められた。TT74-53、TT75-57 でも、同様の堆積状況が認められたことから、遺物包含層は埋没河川跡のような部分的な窪地地形に堆積しているものと推測され、窪地地形以外の部分では、後世の開発等によって大半が削平されてしまった可能性が高いと考えられた。

今回は、令和元年度に再試掘を実施するよう指示を受けた範囲及び未調査範囲について試掘調査を実施した。試掘調査では、事業地内に33箇所の試掘坑を設定した。調査の結果、全ての試掘坑で自然堆積層が確認されたものの、遺構・遺物は検出されなかった。また、4次試掘で遺物が出土した褐灰色粘土層の遺物包含層または下位の炭化物を含む層の広がり確認できなかった。

この調査結果を北海道教育委員会に報告したところ、事業地においては、周知の埋蔵文化財包蔵地 K496 遺跡に該当する範囲のうち、4次試掘で遺物が出土した褐灰色粘土層の遺物包含層または下位の炭化物を含む層が確認された範囲については工事着手前に記録保存のための発掘調査が必要であり、それ以外の周知の埋蔵文化財包蔵地 K496 遺跡に該当する範囲については慎重工事、周知の埋蔵文化財包蔵地 K496 遺跡に該当しない範囲については、工事に着手して差し支えないとの回答がなされた。

2 N434 遺跡：整理番号 20-2-306 (第1・16～17図、図版6E～8A)

事業地は、札幌市西区八軒6条東5丁目に所在し、N434 遺跡の中央部南側に位置しており、地形的には札幌市北部の沖積平野に立地する。明治29年に陸地測量部が製版した地形図『北海道假製

五万分一圖 札幌第十號 札幌』によると、本事業地の南東側約 80m に旧河道が存在していたようである。

試掘調査では、事業地内に 7 箇所の試掘坑を設定した。試掘坑の掘削深度は、事業の予定掘削深度である現地表下 -0.8m を基準とした。

調査の結果、全ての試掘坑において現地表下 -0.3 ~ 0.5m の盛土下位で自然堆積層が認められた。そのうち、TT007 では、現地表下 -0.3 ~ 0.5m で黒褐色シルト層の落ち込みがみられたため、土層の精査を行ったところ、竪穴住居跡の壁部及び床面の一部が確認され、床面付近から土器が発見された。そのため、新たに試掘坑 TT008 を設定して調査を実施したところ、TT007 で発見された竪穴住居跡の壁部及び床面の一部がみられたことから、事業地北東側の TT007 及び TT008 付近に竪穴住居跡が存在することが判明した。なお、竪穴住居跡は上部の大半が削平され、遺物包含層と思われる土層は残存しておらず、さらに壁部や床面は部分的に失われている状態であった。竪穴住居跡からは、土器 1 点、礫 3 点の合計 4 点の遺物が発見されており、土器は、型式学的特徴から擦文文化期に相当するものと考えられる。

この調査結果を受けて、札幌市教育委員会より事業者に対して、今回の工事計画では基礎掘削深度が竪穴住居跡に至ることから、住宅基礎工事の掘削の際に埋蔵文化財を確認するための工事立会が必要との回答を行った。

工事立会は住宅基礎工事の掘削時に実施した。調査の結果、試掘調査において確認された竪穴住居跡は、上部の大半が削平され、南側壁部及び北東側壁部に後世の開発等により不明な部分はみられるが、現状で長軸 6.4m 程、短軸 5.3m 程の南 - 北方向を長軸とする規模であり、平面形は隅円長方形を呈するものと考えられる。

付属遺構としては、後世の開発等により大半は失われていたものの、南壁中央付近から、カマド (FU01) の焚口及び煙道の一部が確認された。また、カマドの北東側に焼土粒集中範囲 (DB01) が 1 箇所、床面中央から炉跡 (HE01) が 1 基、南西コーナーと北西コーナー付近から柱穴 (PH01・PH02) が各 1 基確認された。

カマドの焚口は、火床の一部が確認されたのみであった。煙道部は煙道の一部が確認されており、土層の状態からトンネル式で構築されたものと考えられる。竪穴住居跡の床面はほぼ平坦であり、その中央付近から炉跡が確認された。炉跡は、長軸が 1.6m、短軸が 1.4m 程の不整形を呈し、長軸方向は竪穴住居跡とほぼ同じ南 - 北であり、火床上部に焼骨片を含む灰層とみられる土層が確認された。焼土粒集中範囲は、長軸が 1.3m、短軸が 1.0m 程の不整形を呈し、長軸方向は東 - 西であった。覆土は、焼骨片を含む灰層とみられる土層である。カマドの焚口の北東側に広がることから、カマドの灰層がかき出されたものである可能性がある。2 基の柱穴は直径 0.2m 程の円形の平面形を呈しており、床面からの深さは、PH01 が 0.2m 程、PH02 が 0.1m 程であり、底面はほぼ平坦であった。

遺物は、試掘調査分と合わせて 140 点が発見された。内訳は、擦文土器 98 点、焼成粘土塊 10 点、礫石器・礫 32 点である。図版 8A に 17 点を掲載した。

1 ~ 5 は甕である。1 は口縁部および底部を欠損しているが、小型の甕である。胴部文様帯は横走沈線を地文とし、中段に刺突列を 2 列施文して文様帯を上下に区画し、そこに 2 ~ 4 本一組の斜行沈線を鋸歯状に施文したものを上下に組み合わせ、菱形の格子状に配置されている。また、胴下部文様帯には刺突列がみられる。2 は口縁部である。胴部文様帯は横走沈線が施文され、口唇部に刺突列がみられる。3 は頸部である。4 ~ 5 は胴部である。4 は横走沈線が施文され、5 は斜行沈線および刺突列がみられる。

6～13は坏である。6はロクロ成型の口縁部で、内面は黒色処理されている。7は口縁部で、口唇部に刻みがみられ、体部に斜行沈線がみられる。8～13は文様等から同一個体とみられる高台坏で、内面は黒色処理されている。7は口縁部、9～12は胴部、13は底部である。体部の中段に沈線で文様帯を上下に区画し、そこに2～3本一組の斜行沈線を鋸歯状に施文したものを上下に組み合わせ、菱形の格子状に配置されている。

14～17は、安山岩製の磨石の円礫で、14、15は中心部付近から分割されている。

3 K39 遺跡：整理番号 20-2-310（第2・21～27図、第3表、図版10～20）

事業地は、K39遺跡の南部に位置しており、地形的には札幌扇状地の扇端部に立地する。札幌扇状地の扇端部付近は、湧泉池を源とする河川が存在しており、明治29年に陸軍省陸地測量部が製版した地形図『北海道假製五万分一圖 札幌第十號 札幌』によると、本事業地の東側約30mに旧河道が存在していたようである。

試掘調査では、事業地内で8箇所の試掘坑を設定した。試掘坑の掘削深度は、事業の予定掘削深度である現地表下-1.0mを基準とした。

調査の結果、TT001、TT003、TT005において、盛土直下から土坑が検出されたが、上部及びその一部は、後世の開発等による掘削を受けており、遺物包含層も部分的に確認される状態であった。また、TT005では部分的に残存した遺物包含層の下面で焼土が1箇所検出された。遺物は全ての試掘坑で発見され、土坑内から出土するものも見られた。遺物は、土器が113点、石器が47点の合計160点発見され、出土した土器は、型式学的特徴から続縄文文化期に帰属するものと考えられる。

なお、土層の状態から、事業地北西側の地形が相対的に高く、南東側に向かって低くなる地形であることが確認された。

この調査結果を受けて、札幌市教育委員会より事業者に対して、今回の工事計画では基礎掘削深度が遺物包含層及び遺構に至ることから、基礎工事の掘削の際に埋蔵文化財を確認するための工事立会が必要との回答を行った。

工事立会は基礎工事の掘削時に実施した。調査の結果、土坑28基、炉跡6箇所の遺構が検出され、続縄文土器、剥片石器、礫石器が発見された。土坑は、後世の開発等により部分的に失われているものがみられたが、平面形が楕円形のPT04、PT05、PT07、PT09、PT12、PT16、PT25、PT28と、それ以外の円形のものが確認された。遺構の規模は、現状の残存規模を基本に第3表に示した。なお、部分的に失われている場合は、括弧付きで推定規模の数値を表している。深さは覆土最上部からの最大値を記載した。PT08、PT09、PT12、PT20以外の土坑の覆土には部分的に炭化物が含まれており、さらにPT10、PT15、PT16、PT17、PT18、PT19、PT25、PT27の覆土には焼骨片が部分的に含まれていた。また、PT01、PT02、PT04、PT05、PT06、PT07、PT08、PT10、PT14、PT15、PT17、PT18、PT19、PT20、PT21、PT26、PT27、PT28では、覆土および坑底付近に礫が確認されている。

付属遺構としては、PT05で坑底の中心からやや東よりに3基の小ピットがみられ、うち2基は壁際に構築され、坑底に構築されたものより規模が大きいものであった。PT10では坑底の中心付近に小ピットがみられ、PT13では坑底の中心からやや南寄りに小ピットがみられた。PT14では坑底の南西壁及び中心付近に、PT16では坑底の東壁及び西壁付近に各1基の小ピットがみられた。

PT02とPT09、PT06とPT11、PT15とPT16、PT04とPT23、PT21とPT28では重複関係がみられ、いずれも後者が先に構築され、前者が後に構築されたものである。なお、PT12はPT04とPT05と重複

関係がみられたと推定されるが、重複部分の土層が確認できなかったため、前後関係は不明である。

遺物は、PT01、02、04～08、13～28では続縄文土器が出土し、大半が深鉢であるが、坏及び注口土器もみられた。PT01～PT08、PT11～PT28では剥片石器が出土し、円形搔器、石核、二次加工剥片等がみられ、PT19では石鏃が出土した。石器石材は、黒曜石が大半であるが、安山岩、片岩もみられた。また、PT08では坑底面から礫の剥片37点がまとまって出土した。

炉跡は、平面形がほぼ円形のHE01、HE02、HE03、HE05と平面形が楕円もしくは不整形のHE04、HE06がみられた。HE06は被熱面の上面に灰層が確認されている。被熱箇所周囲に礫の抜き取り痕とみられる小ピットが確認されたものもみられており、これらは石囲い炉であると考えられる。

HE01とPT08、HE06とPT20には重複関係が見られ、前者ではHE01が先に形成され、後者ではHE06が後に形成されている。

遺物は、試掘調査及び工事立会を含め、土器、剥片石器、礫石器・礫が2,647点発見されており、内訳は第3表のとおりである。なお、土坑の覆土および坑底にみられた礫は集計していない。その他、極微量の動植物遺存体も発見されている。

図版14は土坑出土土器である。1～6はPT01出土で、1は口縁部、2～3は胴部、4～6は底部である。7～19はPT02出土で、7～14は口縁部、15～17は胴部、18～19は底部である。7～13、17に円形刺突文、7～9、14～16に沈線、15にLR縄文がみられる。20～24はPT04出土で、20～22は口縁部、23は底部、24は注口土器である。20に円形刺突文がみられる。25～27はPT05出土で、25は胴部、26は底部、27は坏の底部である。28～30はPT06出土の胴部で、30にLR縄文がみられる。31～32はPT07出土で、31は胴部、32は注口土器である。33～35はPT08出土で、33～34は口縁部、35は胴部である。33、35に円形刺突文がみられる。36～40はPT13出土で、36～38は口縁部、39は胴部、40は底部である。36～39に円形刺突文、36～37、39に沈線がみられる。41～42はPT14出土の胴部である。43～45はPT15出土で、43～44は口縁部、45は胴部である。43～44に円形刺突文、43に沈線がみられる。46～48はPT16出土の胴部である。49～51はPT17出土で、49は口縁部、50は胴部、51は底部である。49に円形刺突文、沈線がみられる。52～55はPT18出土で、52～54は口縁部、55は胴部である。52～53に円形刺突文、55に沈線がみられる。52に補修孔がみられる。56～57はPT19出土で、56は胴部、57は底部である。58～64はPT20出土で、58～61は口縁部、62～63は胴部、64は底部である。58、62～63に円形刺突文、沈線、58、62にLR縄文がみられる。58に補修孔がみられる。64の底部の形状は四角である。65～68はPT21出土で、65～66は口縁部、67は胴部、68は注口土器である。65に円形刺突文がみられ、65、67に沈線がみられる。69～70はPT22出土で、69は胴部、70は注口土器である。69に微隆起線文がみられる。71はPT23出土の胴部である。72はPT24出土の胴部である。73～77はPT25出土で、73～76は口縁部、77は胴部～底部である。73～76に円形刺突文がみられ、76に沈線がみられる。78～81はPT26出土で、78～79は口縁部、80は胴部、81は底部である。78～79に円形刺突文がみられ、78に沈線、80にLR縄文がみられる。82～85はPT27出土で、82～83は口縁部、84は底部、85は坏の口縁部である。82に円形刺突文、沈線がみられる。86はPT28出土の胴部である。

図版15は土坑出土石器である。87はPT01出土、88～91はPT02出土、92～93はPT04出土、94はPT05出土、98～99はPT07出土、100はPT13出土、102～103はPT14出土、105～106はPT15出土、112はPT20出土、113～114はPT21出土、115はPT26出土の円形搔器である。95はPT05出土、96はPT06出土、104はPT14出土、110はPT18出土の楔形石器である。97はPT06出土の削器である。101はPT13出土、107はPT15出土の搔器である。108はPT17出土、116はPT28出土の二次加工剥片

である。109はPT17出土の石核である。111はPT19出土の石鏃である。117はPT20出土の磨石である。118はPT08出土の礫剥片である。87～110、112～116は黒曜石、111は片岩、117～118は安山岩である。

図版16～19は発掘区出土土器である。119は無文の小型鉢である。120～121は円形刺突文、沈線、LR縄文がみられる口縁部～胴部で、122～128は口縁部である。129～142は円形刺突文と沈線がみられる口縁部である。140には補修孔がみられる。143は円形刺突文、微隆起線文、LR縄文がみられる口縁部である。144～146は円形刺突文、LR縄文がみられる口縁部である。147～165は円形刺突文がみられる口縁部である。166～168は沈線がみられる口縁部で、166は刺突文、167は半截竹管状工具による刺突、166、168は口唇に刻みがみられる。169は刺突文、LR縄文がみられる口縁部である。170～174は微隆起線文がみられる口縁部である。175は無文の口縁部～胴部で、176～184は口縁部である。185～189は円形刺突文がみられる胴部で、185～188は沈線、185～186はLR縄文がみられる。190～200は沈線がみられる胴部で、196～197は刺突文、198～200はLR縄文がみられる。201は微隆起線文、202は刺突文、203～205は楕状沈線がみられ、206は無文の胴部である。207～230は底部である。231～236は坏で、231～232は口縁部、233～234は体部、235～236は底部である。231は朱塗りである。237～239は注口土器、240～241は片口土器である。

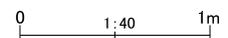
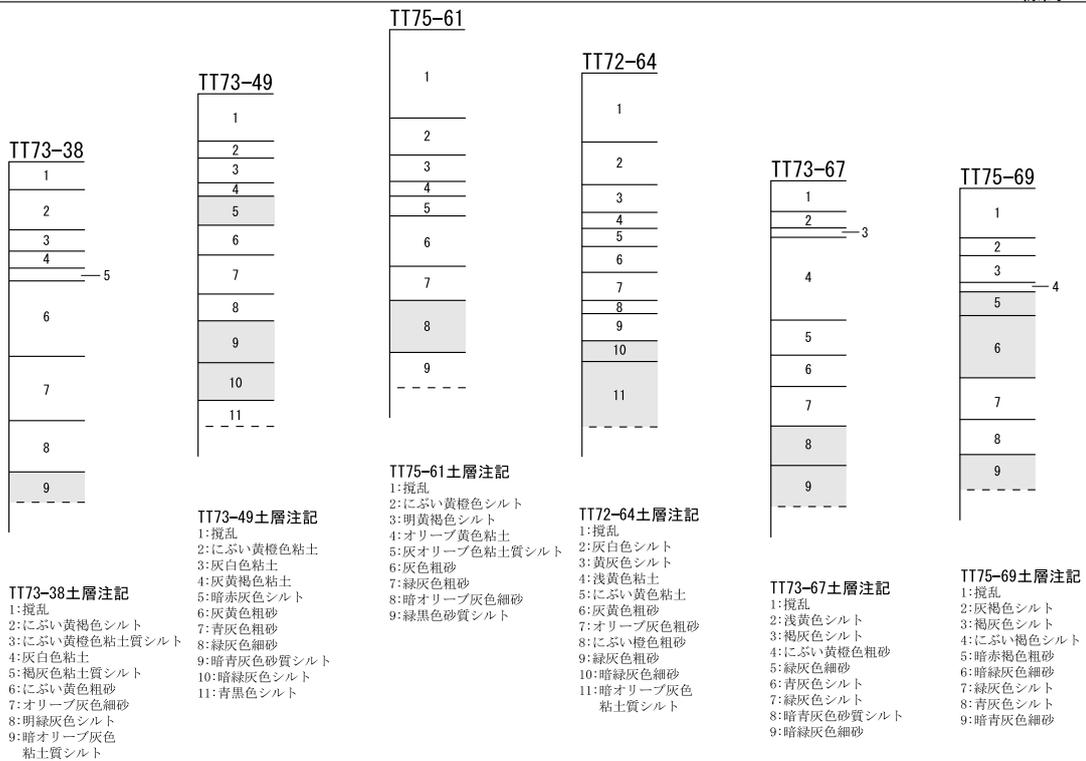
図版20は発掘区出土石器である。242は削器、243は搔器、244～286は円形搔器である。287は琥珀の原石である。288は石斧の基部である。289～295は磨石片である。242は片岩、243～286は黒曜石、288は緑色泥岩、289～295は安山岩である。

第2表 令和2年度試掘調査一覧

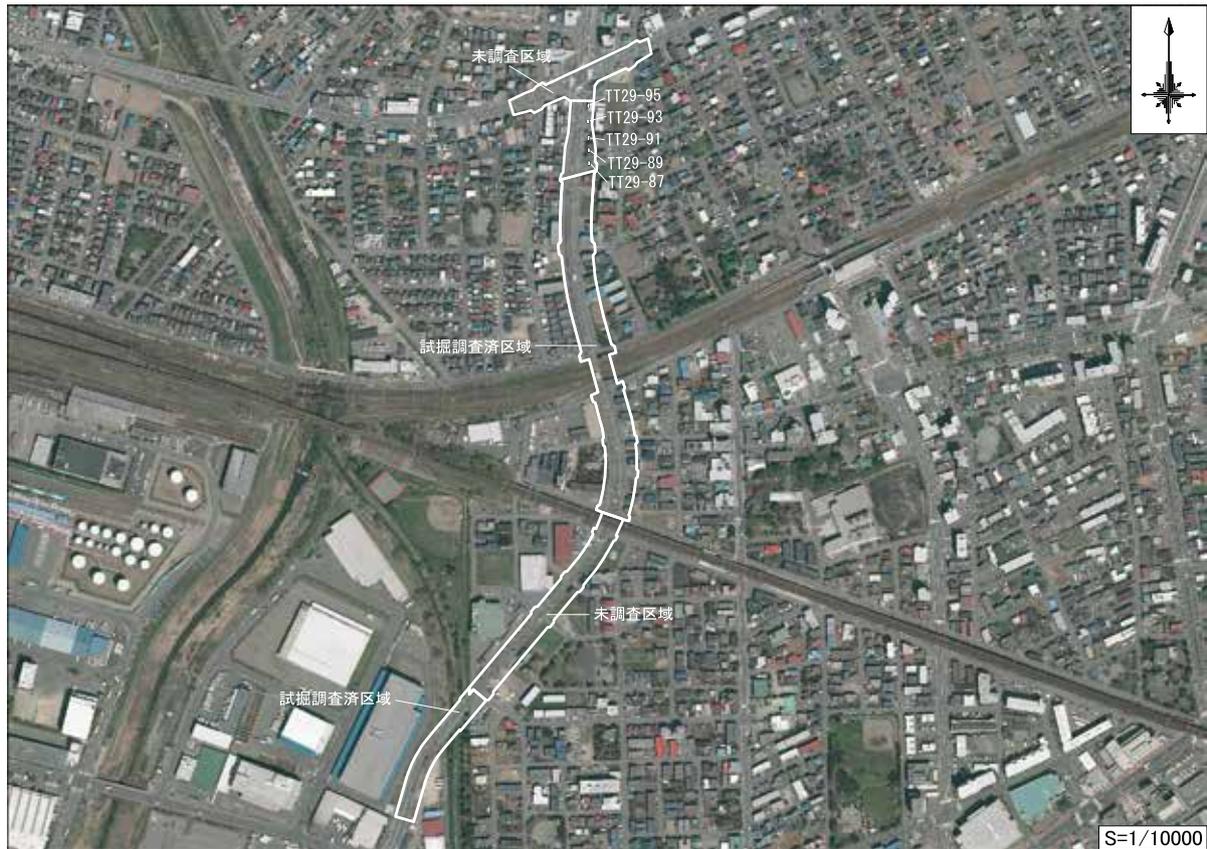
通し番号	整理番号	周知の埋蔵文化財包蔵地	所在地	調査対象面積 (㎡)	事業者	事業種別	掘削面積 (㎡)	調査後措置	特記事項
1	14-3-312	K496 遺跡	札幌市北区屯田町～北区西茨戸	15,430.00	札幌市	道路	99.0	発掘調査 慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
2	15-3-322	周知外 (大規模開発)	札幌市厚別区厚別中央5条1丁目ほか	3,500.00	札幌市	道路	15.0	工事着手可	遺構・遺物なし
3	19-3-314	周知外 (可能性地)	札幌市北区篠路4条7丁目	1,091.34	札幌市	その他開発	21.0	工事着手可	遺構・遺物なし 取り下げ
4	20-3-305	周知外 (大規模開発)	札幌市西区山の手5条6丁目	17,434.00	札幌市	学校建設	51.0	工事着手可	遺構・遺物なし
5	20-3-306	周知外 (大規模開発)	札幌市東区北31条東14丁目	13,234.00	札幌市	学校建設	48.0	工事着手可	遺構・遺物なし
6	20-3-307	周知外 (N559 遺跡隣接地)	札幌市西区発寒5条7丁目	18,981.00	札幌市	学校建設	54.0	工事着手可	遺構・遺物なし
7	19-2-315	N425 遺跡	札幌市西区二十四軒2条2丁目	3,322.05	医療法人	その他建物	24.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
8	20-2-301	N158 遺跡	札幌市西区二十四軒3条3丁目	969.22	民間個人	住宅	27.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
9	20-2-305	H38 遺跡	札幌市東区北32条東5丁目	126.42	民間会社	個人住宅	8.0	慎重工事	遺構・遺物なし
10	20-2-306	N434 遺跡	札幌市西区八軒6条東5丁目	198.33	民間個人	個人住宅	16.0	工事立会	竪穴住居跡、 擦文土器、 礫石器
11	20-2-307	K438 遺跡	札幌市北区北29条西10丁目	330.55	民間個人	その他建物	18.0	慎重工事	遺構・遺物なし
12	20-2-308	H38 遺跡	札幌市東区北32条東5丁目	126.44	民間個人	個人住宅	8.0	慎重工事	遺構・遺物なし
13	20-2-309	K443 遺跡	札幌市北区北37条西7丁目	376.18	民間会社	住宅	21.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
14	20-2-310	K39 遺跡	札幌市北区北7条西7丁目	173.22	民間会社	その他建物	24.0	工事立会	土坑、 続縄文土器、 石器
15	20-2-311	K437 遺跡	札幌市北区北26条西15丁目	431.54	民間会社	その他建物	18.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
16	20-2-313	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北5条西1～3丁目	18,100.00	組合組織	その他建物	39.0	工事着手可	遺構・遺物なし
17	20-2-314	C430 遺跡	札幌市中央区北16条西16丁目	10,200.00	特殊法人	その他建物	54.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
18	20-2-315	N313 遺跡	札幌市手稲区前田8条10丁目	4,181.42	学校法人	その他建物	21.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
19	20-2-317	K35 遺跡	札幌市北区新川5条1丁目	131.83	民間会社	個人住宅	10.0	慎重工事	遺構・遺物なし
20	20-2-318	H38 遺跡	札幌市東区北32条東5丁目	128.09	民間個人	個人住宅	12.0	慎重工事	遺構・遺物なし



標高2.500m

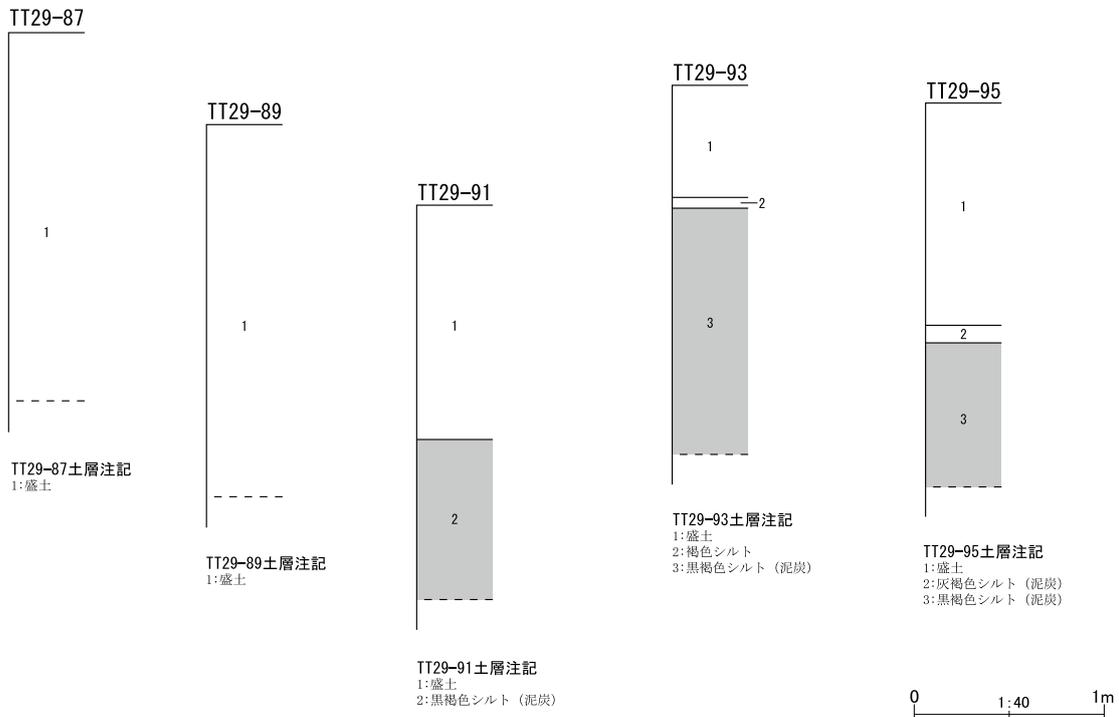


第7図 整理番号 14-3-312 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高12.000m

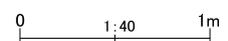
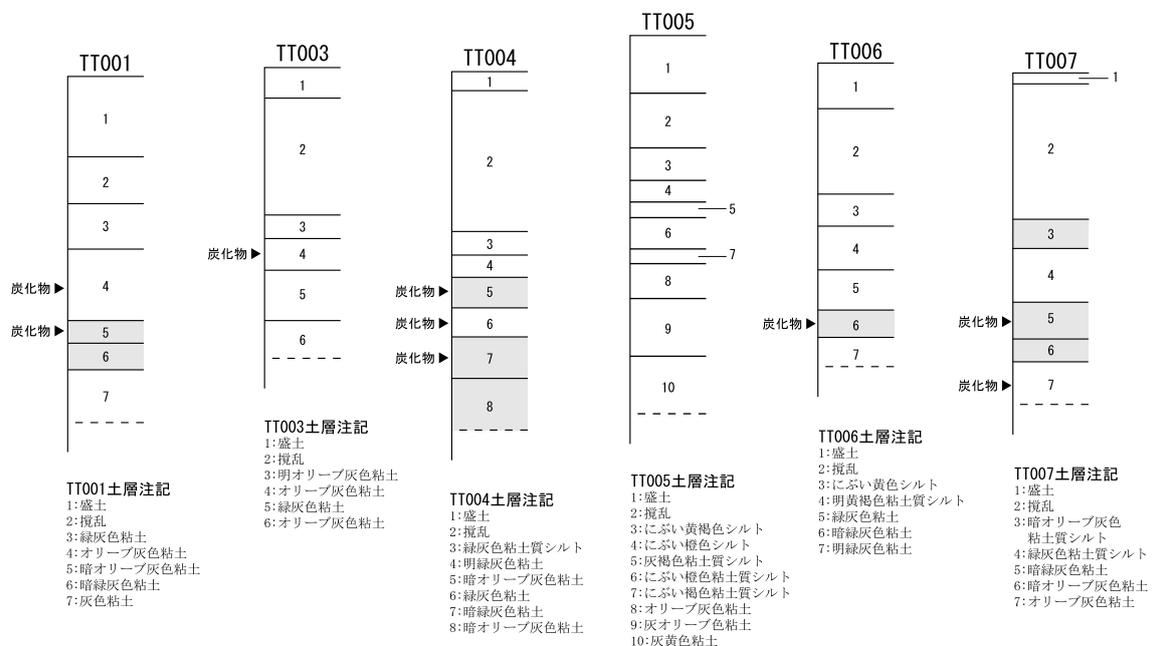
標高11.000m



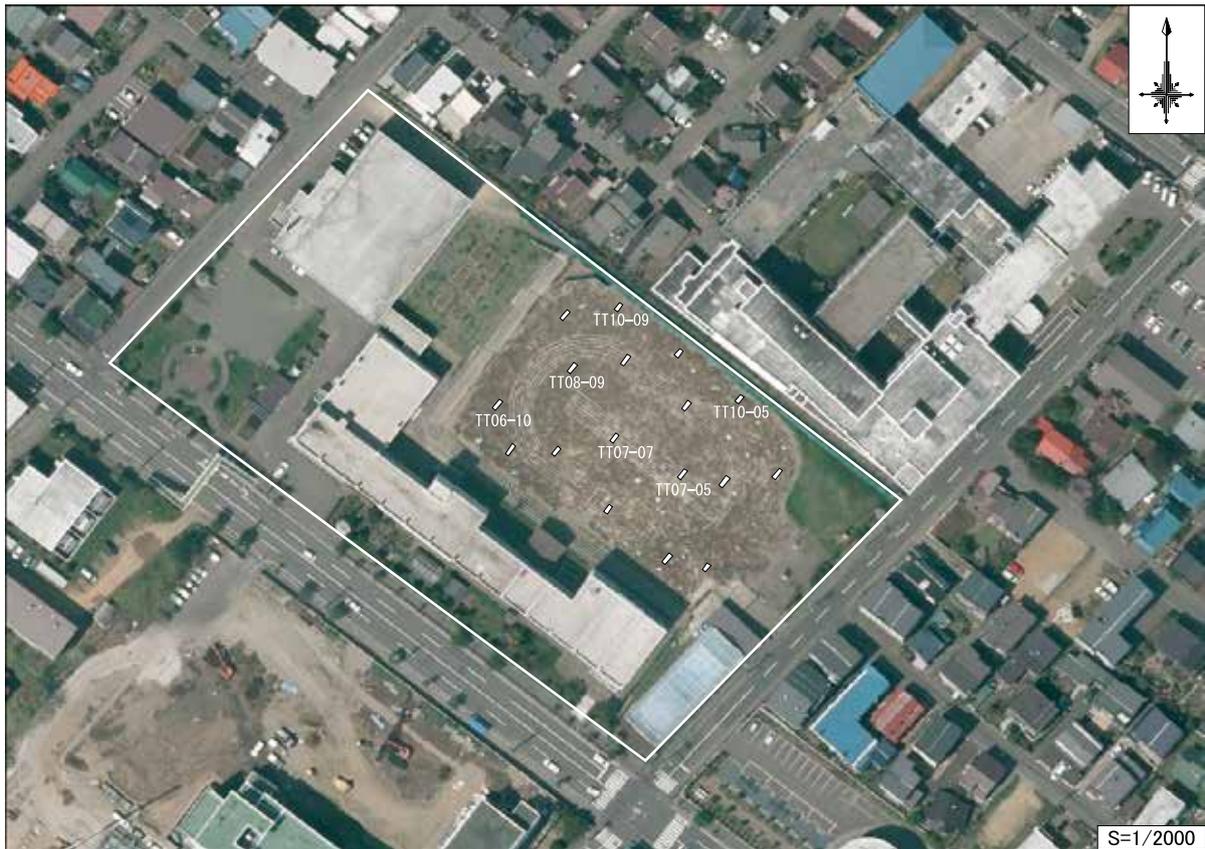
第 8 図 整理番号 15-3-322 試掘調査土層断面模式図



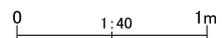
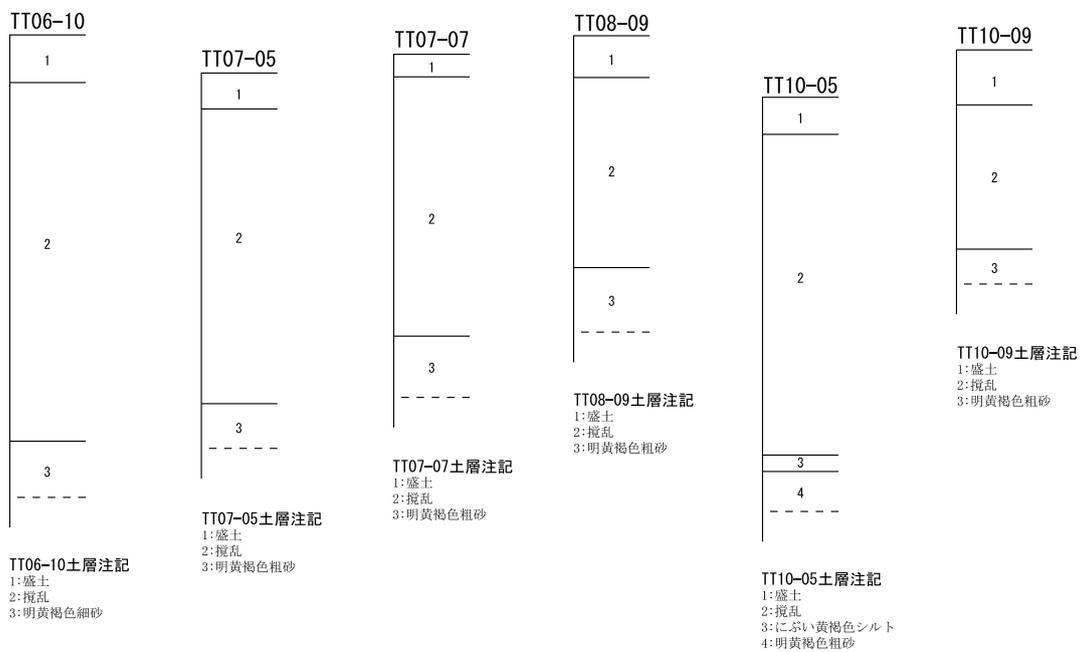
標高4.000m



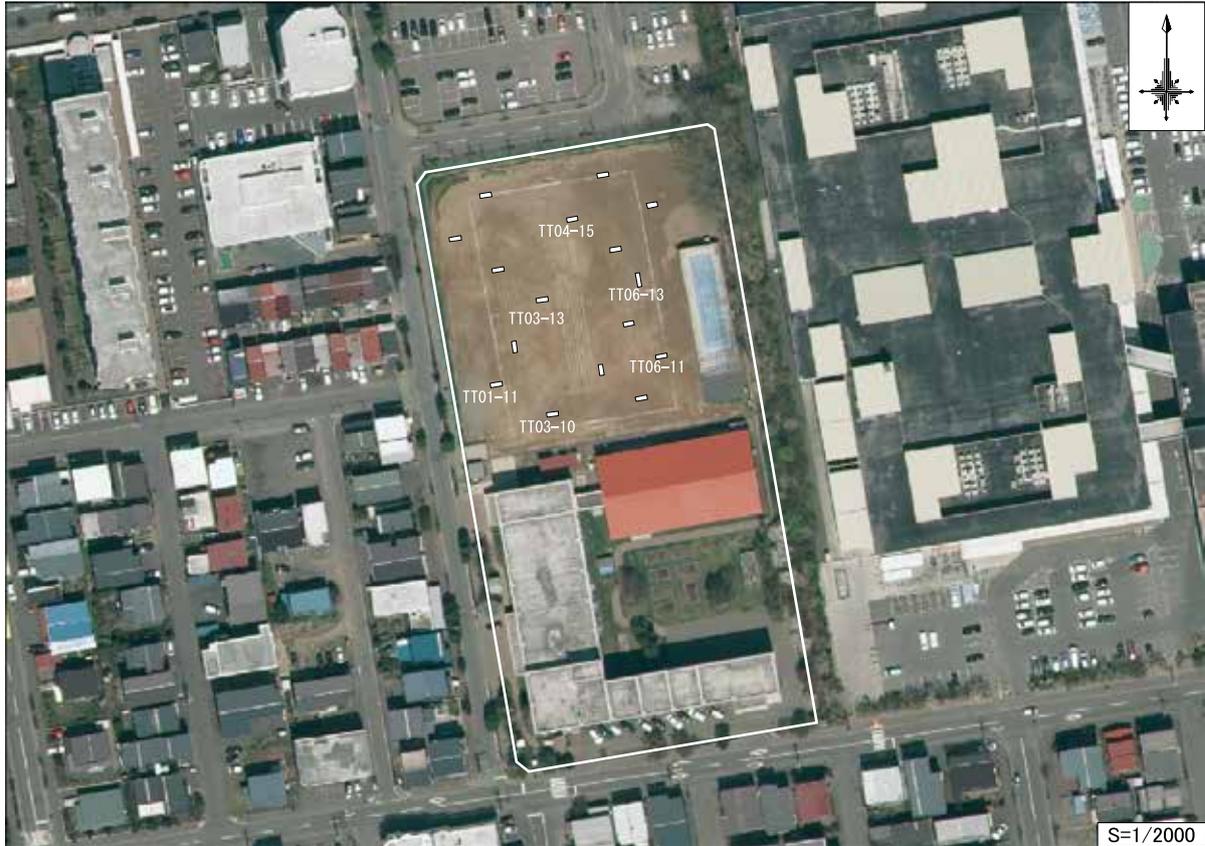
第9図 整理番号 19-3-314 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



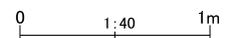
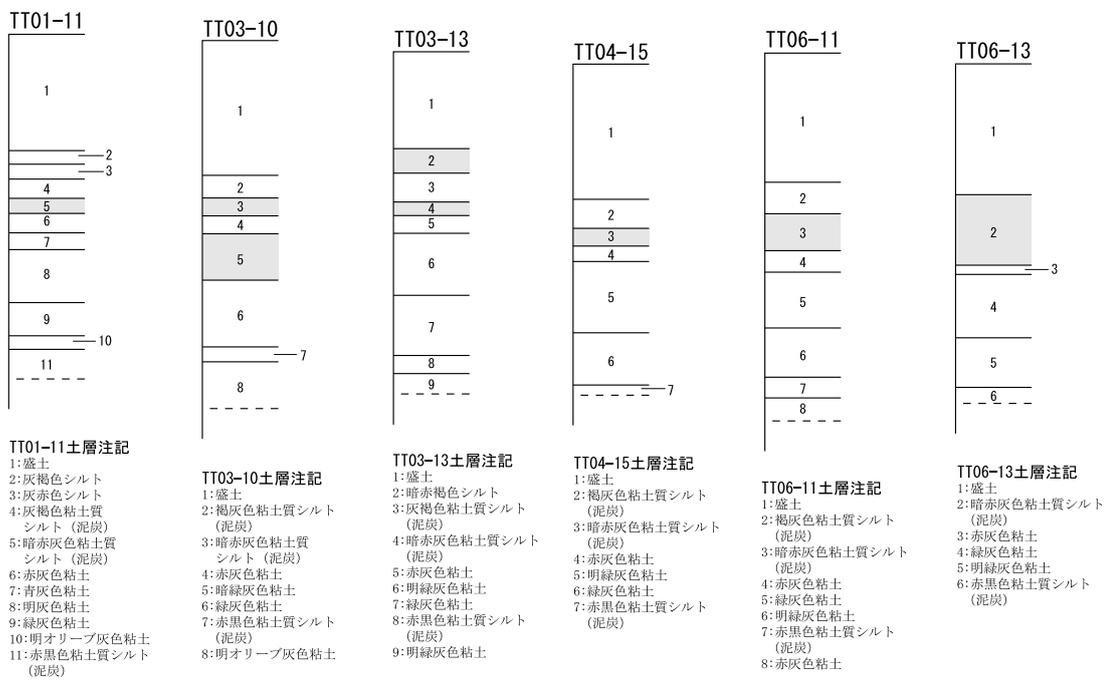
標高38.500m



第 10 図 整理番号 20-3-305 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



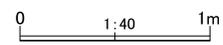
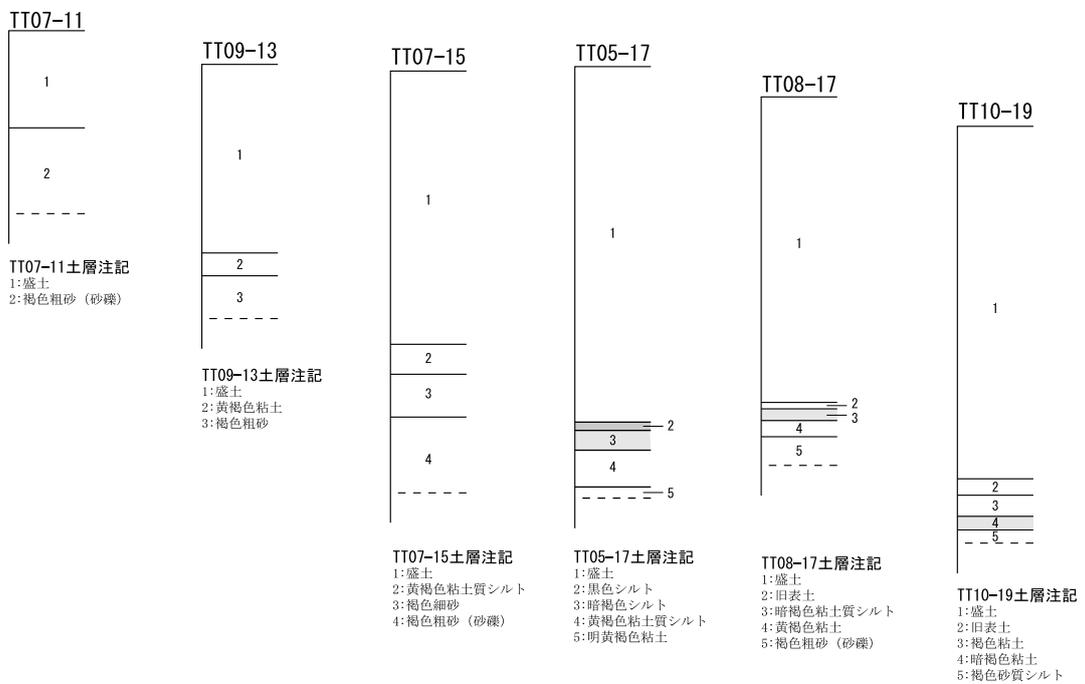
標高8.000m



第11図 整理番号 20-3-306 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



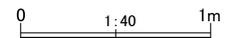
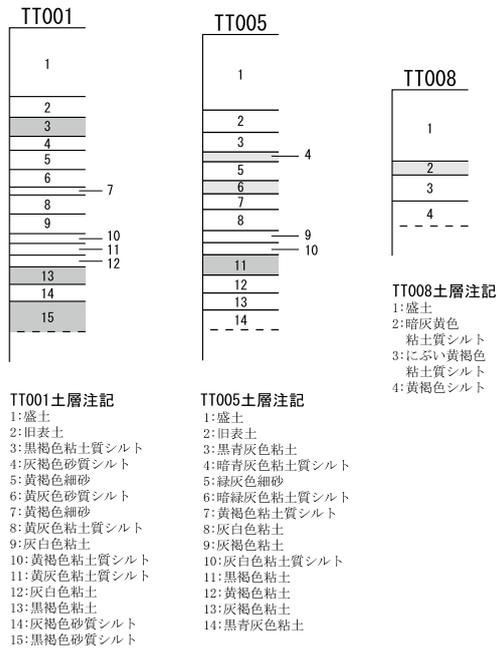
標高24.000m



第 12 図 整理番号 20-3-307 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



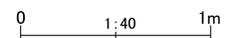
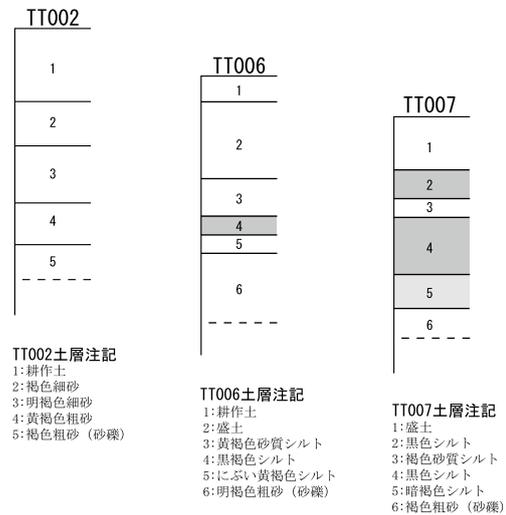
標高13.500m



第13図 整理番号 19-2-315 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



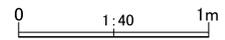
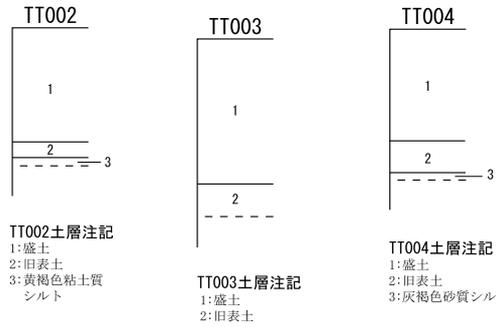
標高16.500m



第14図 整理番号 20-2-301 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



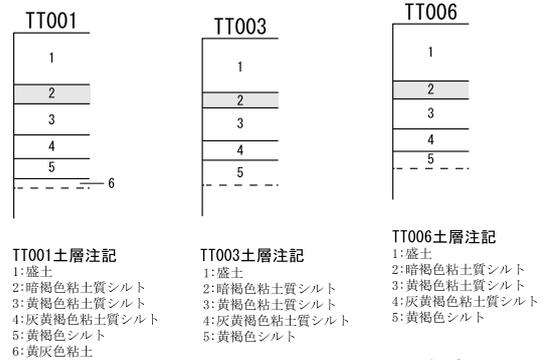
標高9.500m



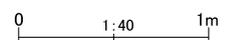
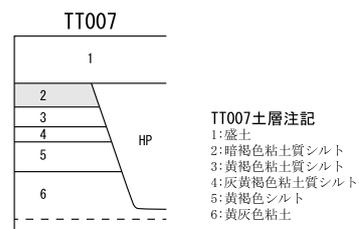
第 15 図 整理番号 20-2-305 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



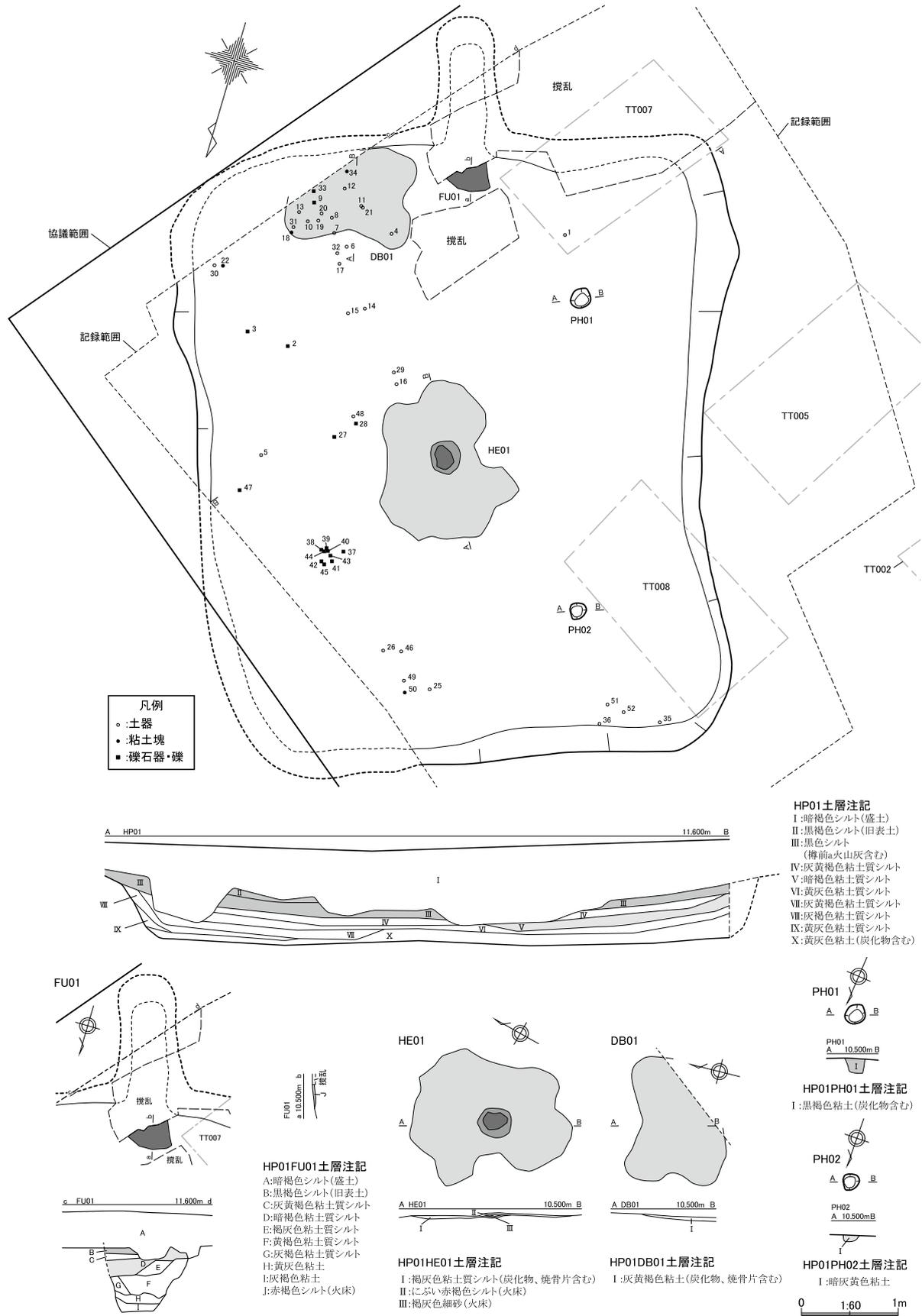
標高12.000m



標高12.000m



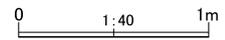
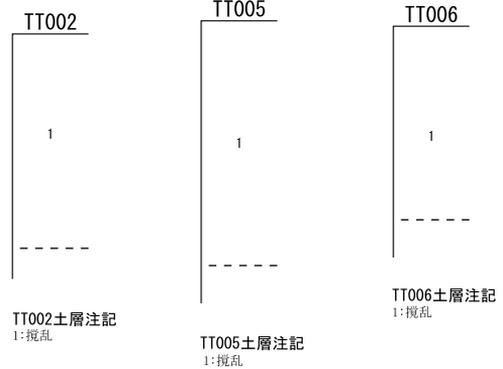
第 16 図 整理番号 20-2-306 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



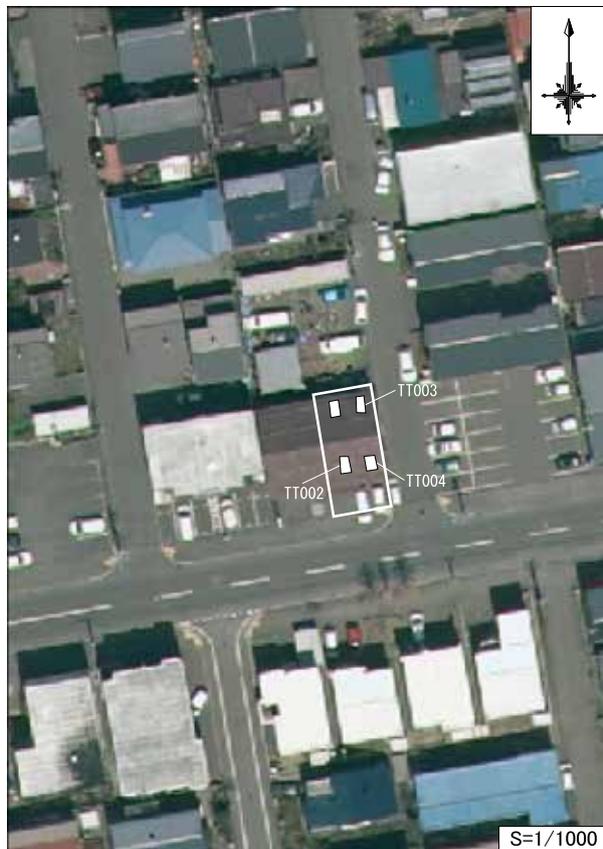
第17図 整理番号 20-2-306 竪穴住居跡及び付属遺構実測図



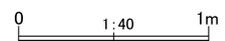
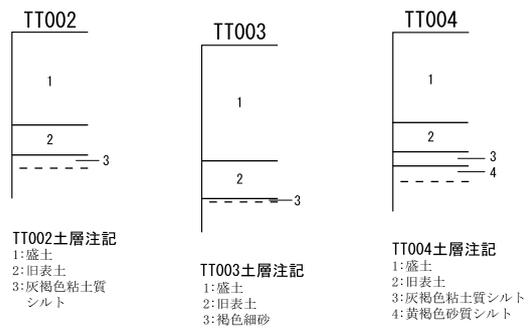
標高10.000m



第 18 図 整理番号 20-2-307 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高9.500m

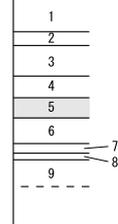


第 19 図 整理番号 20-2-308 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高8.000m

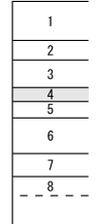
TT002



TT002土層注記

- 1: 盛土
- 2: 黄灰色シルト
- 3: 灰黄色シルト
- 4: オリーブ褐色シルト
- 5: 暗灰黄色粘土質シルト
- 6: 黄褐色粘土質シルト
- 7: 赤褐色細砂
- 8: 黄灰色粘土質シルト
- 9: 灰黄色粘土

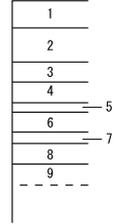
TT003



TT003土層注記

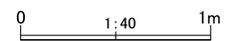
- 1: 盛土
- 2: 黄褐色シルト
- 3: 黄褐色砂質シルト
- 4: 暗灰黄色シルト
- 5: 赤褐色細砂
- 6: オリーブ褐色シルト
- 7: 黄灰色砂質シルト
- 8: 明赤褐色粗砂

TT007



TT007土層注記

- 1: 盛土
- 2: 黄褐色シルト
- 3: オリーブ褐色シルト
- 4: 赤褐色細砂
- 5: 黄褐色粘土質シルト
- 6: 赤褐色細砂
- 7: 灰黄色粘土
- 8: 黄灰色粘土質シルト
- 9: 灰黄色粘土

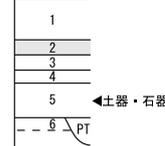


第20図 整理番号 20-2-309 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高14.000m

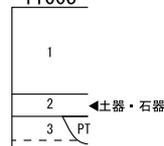
TT001



TT001土層注記

- 1: 盛土
- 2: 暗褐色砂質シルト
- 3: 黄褐色粘土質シルト
- 4: 灰黄褐色粘土質シルト
- 5: 灰褐色砂質シルト
- 6: 黄褐色砂質シルト

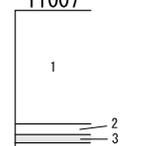
TT003



TT003土層注記

- 1: 盛土
- 2: 灰褐色砂質シルト
- 3: 黄褐色砂質シルト

TT007



TT007土層注記

- 1: 盛土
- 2: 黄褐色粘土質シルト
- 3: 暗褐色粘土質シルト
- 4: 黄褐色粘土質シルト
- 5: 灰褐色粘土質シルト
- 6: 暗褐色粘土質シルト

標高14.000m

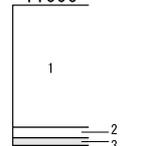
TT002



TT002土層注記

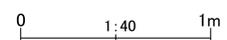
- 1: 盛土
- 2: 暗褐色粘土質シルト
- 3: 黄褐色粘土質シルト
- 4: 灰褐色シルト
- 5: 黄褐色砂質シルト

TT006

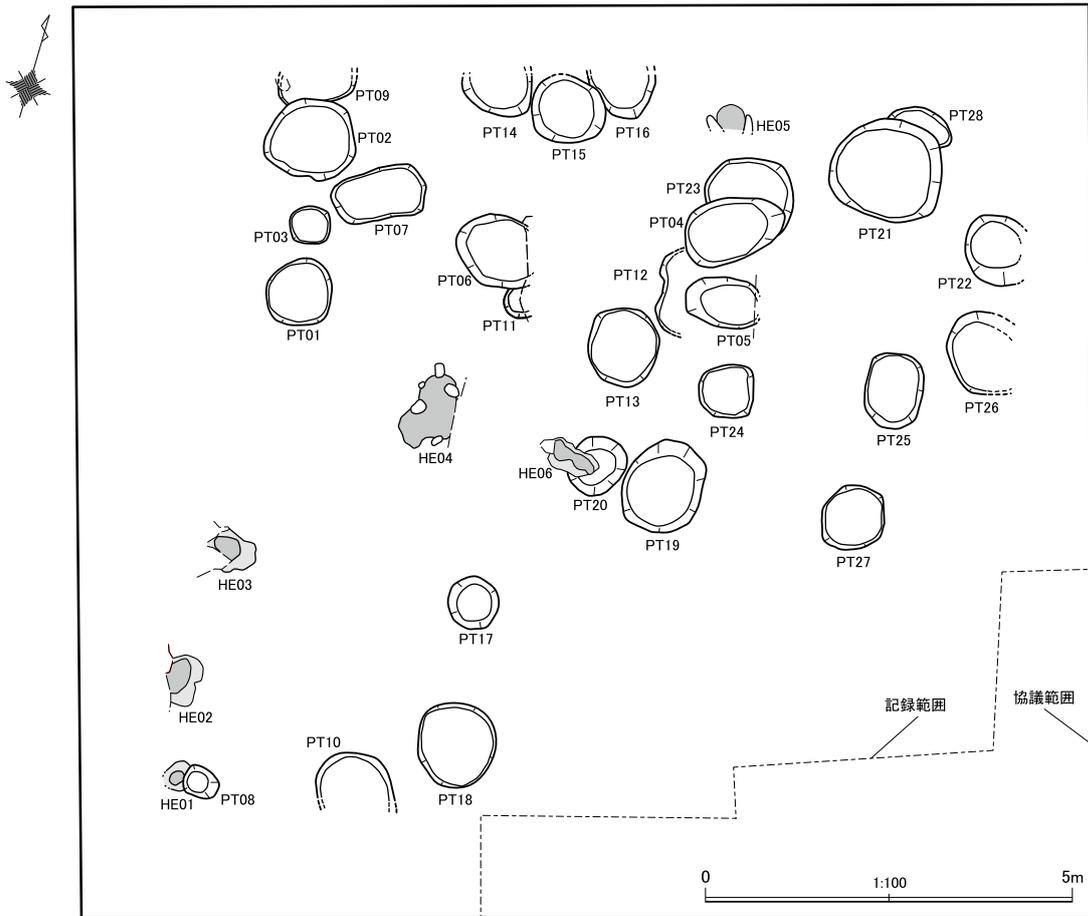


TT006土層注記

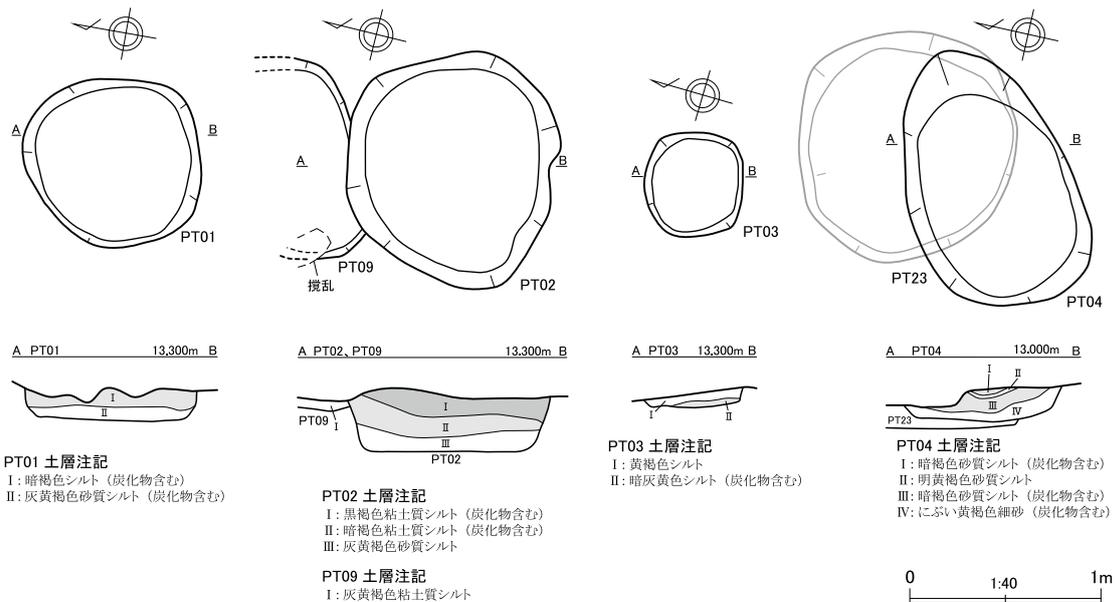
- 1: 盛土
- 2: 黄褐色粘土質シルト
- 3: 暗褐色粘土質シルト
- 4: 黄褐色粘土質シルト
- 5: 暗褐色砂質シルト
- 6: 黄褐色砂質シルト



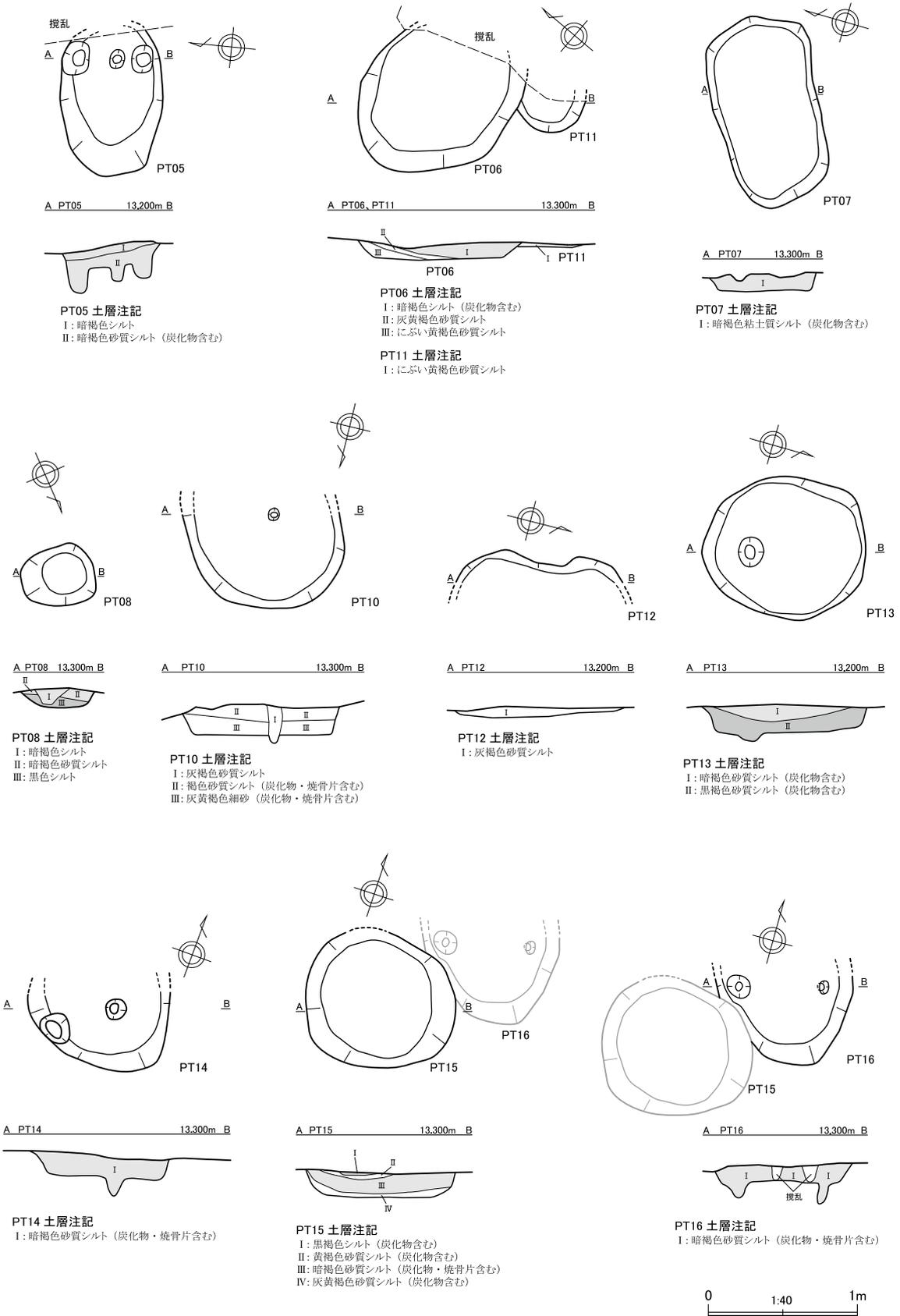
第21図 整理番号 20-2-310 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



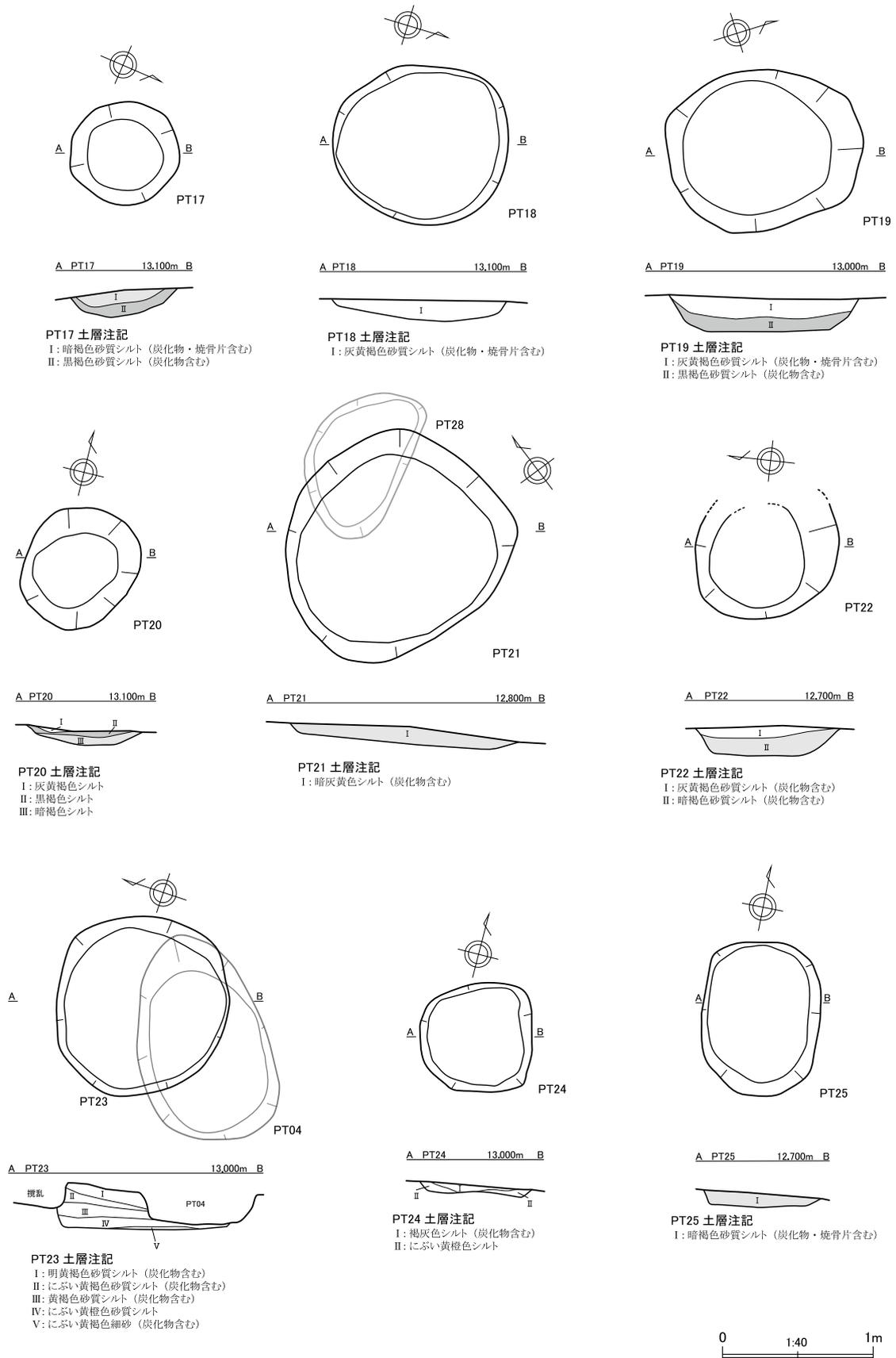
第 22 図 整理番号 20-2-310 遺構配置図



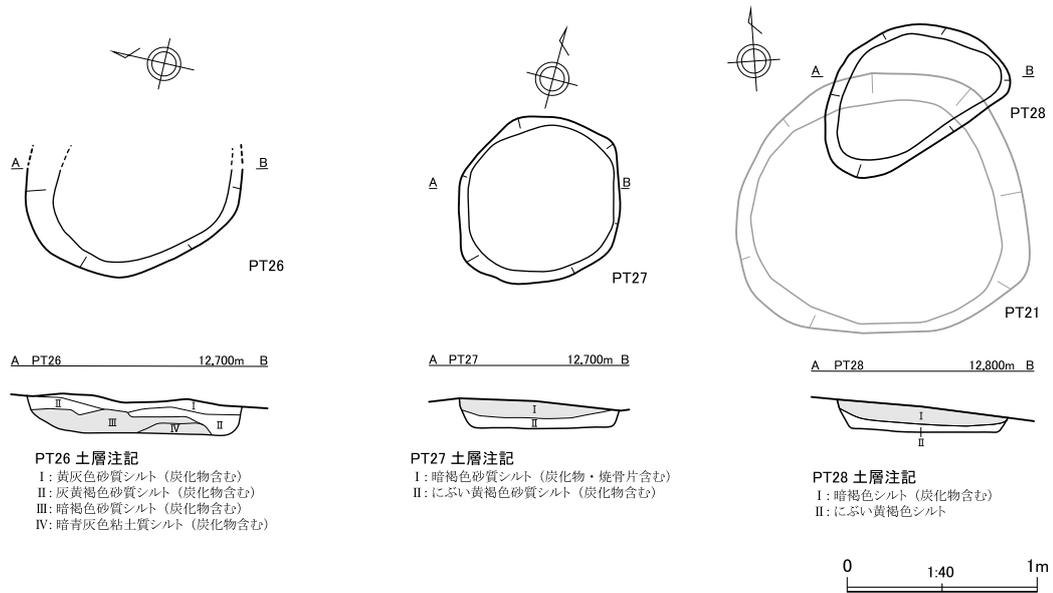
第 23 図 整理番号 20-2-310 土坑実測図 (1)



第24図 整理番号 20-2-310 土坑実測図 (2)



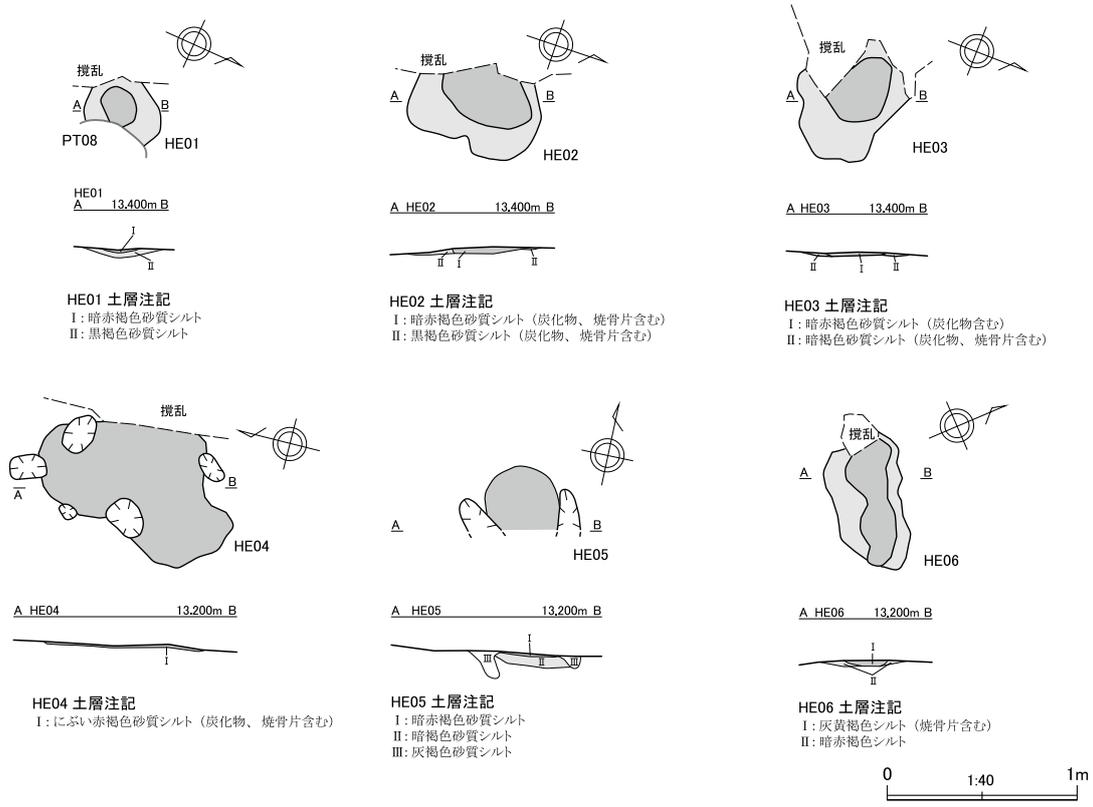
第 25 図 整理番号 20-2-310 土坑実測図 (3)



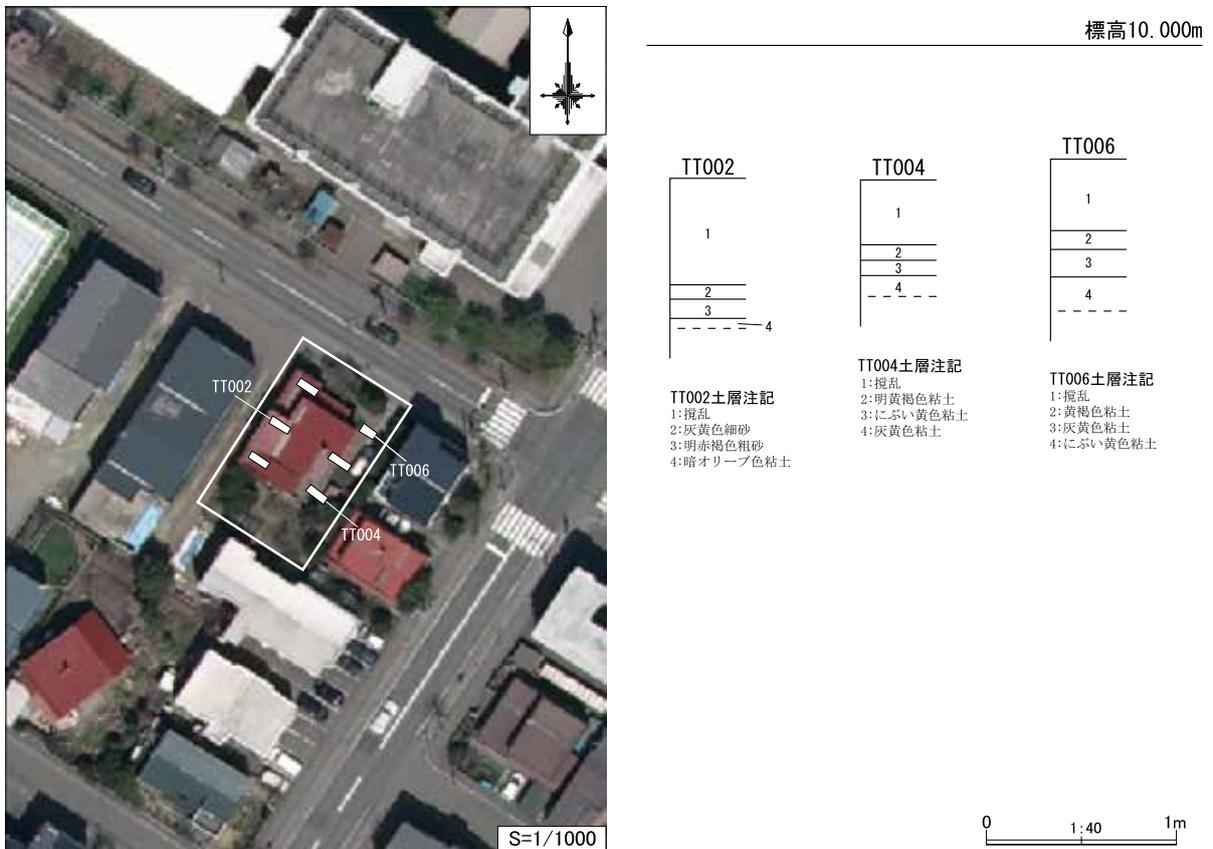
第26図 整理番号 20-2-310 土坑実測図 (4)

第3表 整理番号 20-2-310 遺構属性及び遺物集計表

調査区・遺構名	平面形	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ・厚さ (m)	土器	剥片石器	礫石器・礫	合計
発掘区	-	-	-	-	904	1104	48	2056
PT01	円形	0.97	0.91	0.18	18	20	0	38
PT02	円形	1.23	1.15	0.34	39	59	0	98
PT03	円形	0.54	0.52	0.11	0	4	0	4
PT04	楕円形	1.41	0.87	0.19	17	20	1	38
PT05	楕円形	(1.07)	0.80	0.19	4	11	0	15
PT06	円形	(1.21)	0.99	0.14	5	20	0	25
PT07	楕円形	1.30	0.71	0.07	4	5	0	9
PT08	円形	0.49	0.41	0.13	7	4	39	50
PT09	楕円形	(1.14)	(0.80)	0.09	0	0	0	0
PT10	円形	(1.21)	(1.02)	0.21	0	0	0	0
PT11	円形	(0.55)	(0.51)	0.05	0	2	0	2
PT12	楕円形	(1.24)	(0.90)	0.08	0	2	0	2
PT13	円形	1.10	0.97	0.19	13	19	0	32
PT14	円形	(1.07)	(0.97)	0.19	4	12	1	17
PT15	円形	1.01	(0.94)	0.19	9	26	1	36
PT16	楕円形	(1.16)	(0.92)	0.14	3	8	1	12
PT17	円形	0.73	0.70	0.20	12	14	0	26
PT18	円形	1.17	1.07	0.16	5	10	0	15
PT19	円形	1.38	1.07	0.25	8	22	0	30
PT20	円形	0.84	0.73	0.13	12	5	2	19
PT21	円形	1.51	1.41	0.18	9	25	1	35
PT22	円形	(0.97)	0.94	0.21	6	8	0	14
PT23	円形	1.23	1.13	0.32	2	9	1	12
PT24	円形	0.73	0.72	0.10	1	2	1	4
PT25	楕円形	1.03	0.79	0.12	11	10	0	21
PT26	円形	(1.18)	(1.03)	0.23	7	1	0	8
PT27	円形	0.87	0.85	0.16	11	13	0	24
PT28	楕円形	1.03	0.66	0.18	1	4	0	5
HE01	円形	(0.41)	(0.35)	0.06	-	-	-	0
HE02	円形	(0.68)	(0.62)	0.05	-	-	-	0
HE03	円形	(0.76)	(0.50)	0.03	-	-	-	0
HE04	不整形	1.09	(0.53)	0.06	-	-	-	0
HE05	円形	(0.60)	(0.44)	0.09	-	-	-	0
HE06	不整形	(0.67)	0.35	0.04	-	-	-	0
合計					1112	1439	96	2647



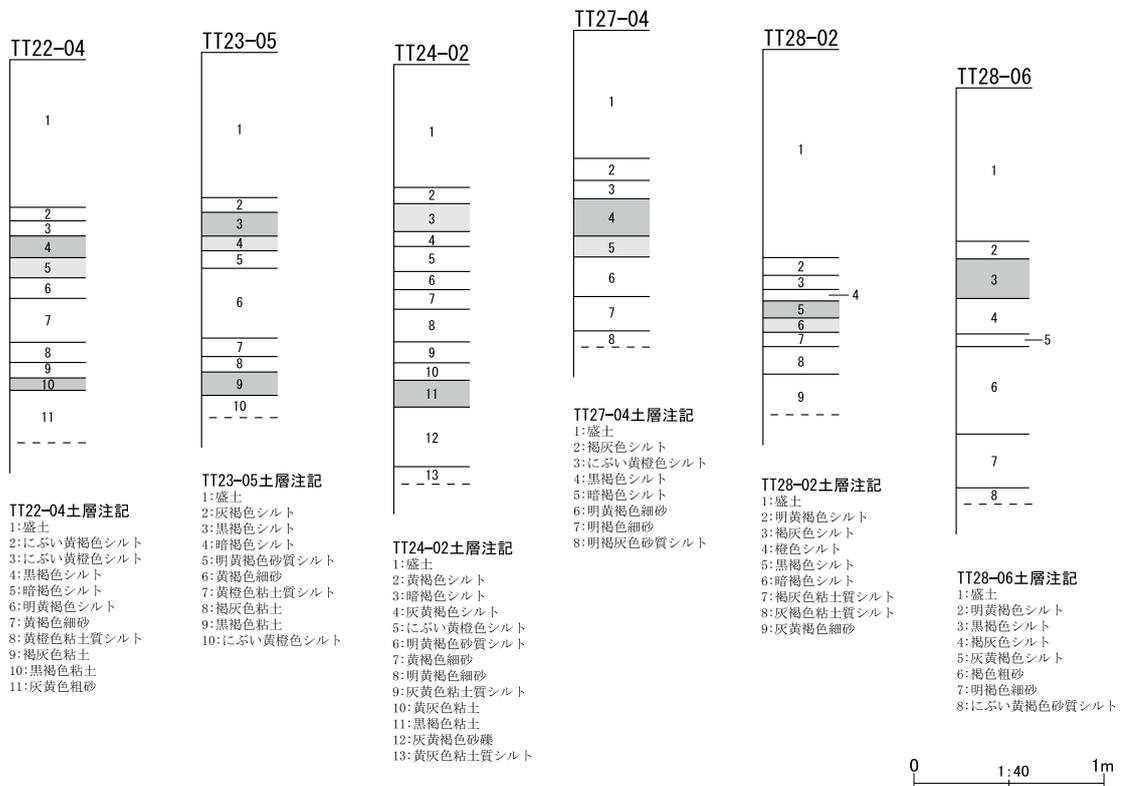
第 27 図 整理番号 20-2-310 炉跡実測図



第 28 図 整理番号 20-2-311 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高17.500m

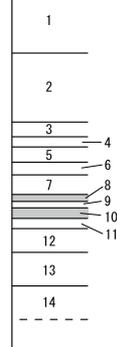


第29図 整理番号 20-2-313 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



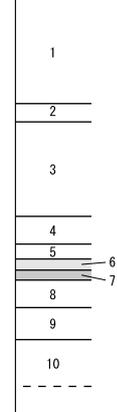
標高12.500m

TT06-07



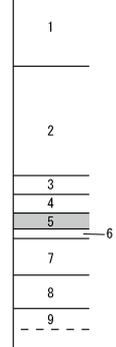
- TT06-07土層注記**
- 1:盛土
 - 2:攪乱
 - 3:灰オリーブ色シルト
 - 4:褐色シルト
 - 5:明赤褐色粗砂
 - 6:にぶい黄褐色シルト
 - 7:浅黄褐色粘土
 - 8:黒褐色粘土
 - 9:浅黄褐色粘土
 - 10:黒褐色粘土
 - 11:褐灰色粘土
 - 12:黄灰色粘土
 - 13:褐灰色細砂
 - 14:明赤褐色粗砂

TT10-06

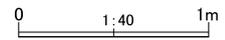


- TT10-06土層注記**
- 1:盛土
 - 2:攪乱
 - 3:明緑灰色粘土質シルト
 - 4:灰白色粘土
 - 5:灰黄色粘土
 - 6:暗灰黄色粘土
 - 7:黒褐色粘土
 - 8:灰黄色粘土
 - 9:灰オリーブ色細砂
 - 10:緑灰色細砂

TT11-12



- TT11-12土層注記**
- 1:盛土
 - 2:攪乱
 - 3:明緑灰色粘土
 - 4:緑灰色粘土
 - 5:黒褐色粘土
 - 6:明オリーブ灰色粘土
 - 7:灰オリーブ色粘土質シルト
 - 8:オリーブ黄色粘土質シルト
 - 9:明緑灰色粘土

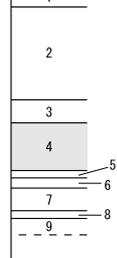


第 30 図 整理番号 20-2-314 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



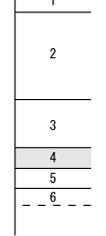
標高4.000m

TT01-01



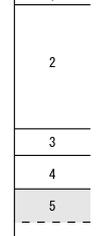
- TT01-01土層注記**
- 1:耕作土
 - 2:盛土
 - 3:灰黄色シルト
 - 4:暗灰黄色シルト
 - 5:浅黄色シルト
 - 6:黄灰色粘土質シルト (泥炭)
 - 7:灰オリーブ色粘土質シルト
 - 8:灰白色粘土
 - 9:オリーブ黄色粗砂

TT04-02

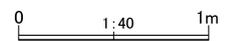


- TT04-02土層注記**
- 1:耕作土
 - 2:盛土
 - 3:灰褐色シルト
 - 4:暗褐色粘土質シルト (泥炭)
 - 5:黄褐色粘土質シルト
 - 6:にぶい黄色粘土質シルト

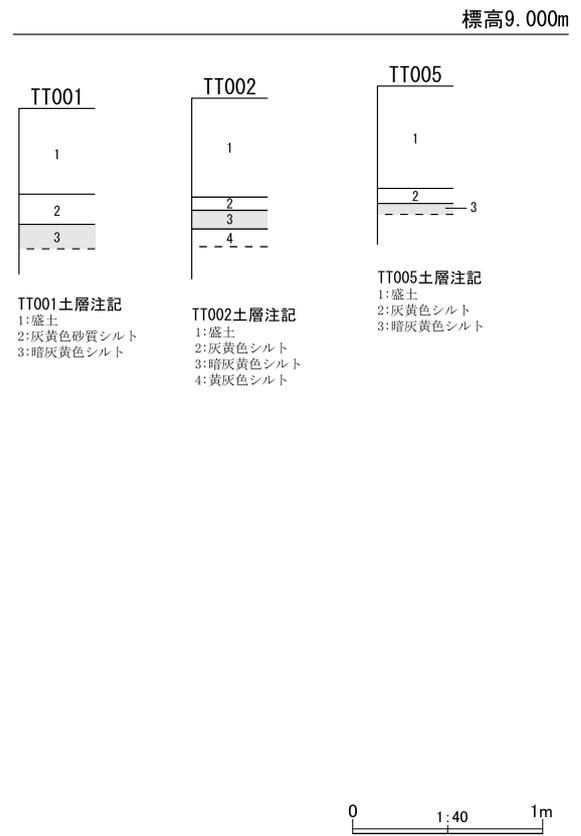
TT06-02



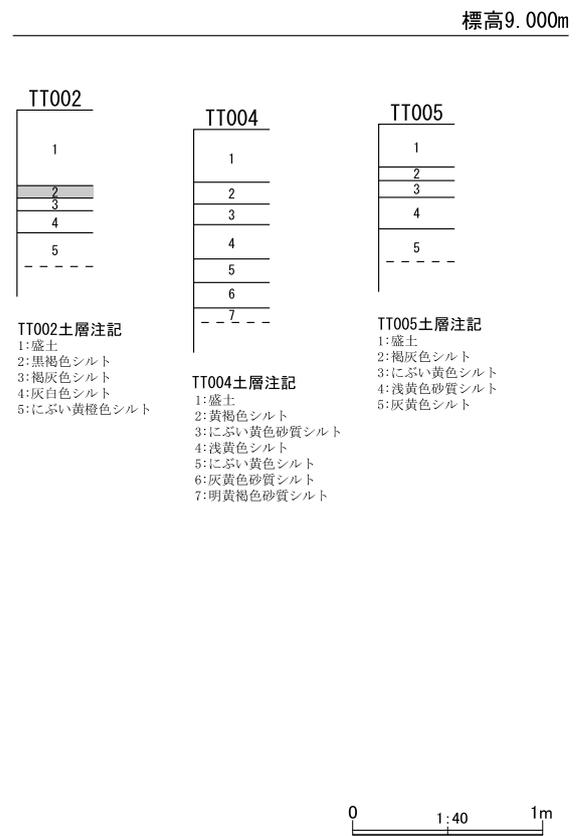
- TT06-02土層注記**
- 1:耕作土
 - 2:盛土
 - 3:灰オリーブ色粘土質シルト (泥炭)
 - 4:オリーブ黄色粘土 (泥炭)
 - 5:暗灰黄色粘土 (泥炭)



第 31 図 整理番号 20-2-315 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



第32図 整理番号 20-2-317 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



第33図 整理番号 20-2-318 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

第4章 工事立会

令和2年度に実施した工事立会は36件であった。工事立会の成果は一覧を第4表に、工事立会の実施位置を第1～3、5図に掲載した。

工事立会の結果、埋蔵文化財が発見された事業は3件である。そのうち、N434遺跡（整理番号20-2-306）、K39遺跡（整理番号20-2-310）は前章で記載しているため、残る1件について概要を記載する。

1 S228遺跡：整理番号19-2-313（第5・34図、図版24）

事業地は、S228遺跡の中央部南側に位置しており、地形的には札幌市東部に位置する月寒丘陵の北端部に立地する。住宅建築工事に伴い工事立会を実施した。なお、本件は、令和元年度に試掘調査を実施し、工事計画変更のため取り下げとなったが、工事計画の決定により、あらためて協議を行い、工事立会が必要との回答を行ったものである。

立会の結果、盛土及び旧表土の下位（現地表下-0.45m～0.6m）に位置する黒色シルト層から遺物が47点発見された。遺物の分布は、事業地全体にみられたが、出土状態は散漫であった。

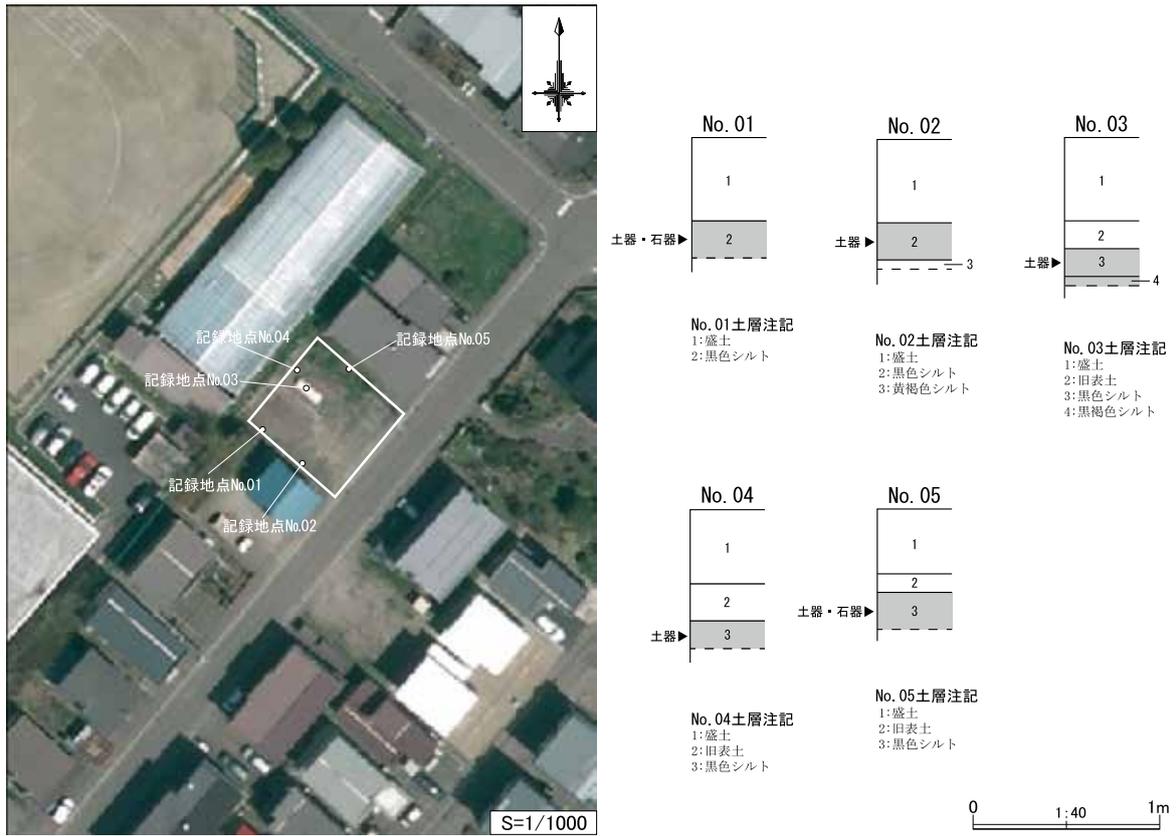
遺物の種類ごとの内訳は、土器44点、黒曜石の剥片3点であった。遺物は摩滅したものや小破片が多くみられたが、文様等が確認された土器には、縄文中期～後期の土器の型式学的特徴を有するものがみられた。なお、遺物包含層の精査を行ったが、遺構は検出されなかった。

図版24に10点を掲載した。1～3は深鉢の口縁部である。1は突起の先端部は欠損しているが、山形突起を有し、口縁部に粘土紐を貼付け、その上から竹管状工具による刺突文がみられる。2～3は口縁部に帯状の粘土紐を貼付け、2はその直下に円形刺突文がみられる。いずれも地文はRL縄文で、口唇部にも施文されており、2は内面にもみられる。

4～9は深鉢の胴部である。4はボタン状貼付け及び竹管状工具による沈線がみられる。5は刺突文がみられる。6は粘土紐を貼付けている。10は深鉢の底部片である。11～13は黒曜石の剥片である。

参考文献

- 赤松守雄・五十嵐八枝子・北川芳男・松下勝秀 1989「第一編 札幌の自然史」『新札幌市史 第一巻 通史一』高倉新一郎他編 札幌市
- 出穂雅実 2009『S228遺跡』（『札幌市文化財調査報告書89』）札幌市教育委員会
- 札幌市教育委員会編 2015『札幌市埋蔵文化財包蔵地分布図』（平成27年3月27日発行 第9改訂版）札幌市教育委員会
- 小針大志・野月寿彦 2018『平成29年度 調査報告書』（『市内遺跡発掘調査報告書10』）札幌市教育委員会
- 野月寿彦・小針大志 2019『平成30年度 調査報告書』（『市内遺跡発掘調査報告書11』）札幌市教育委員会
- 野月寿彦 2020『令和元年度 調査報告書』（『市内遺跡発掘調査報告書12』）札幌市教育委員会



第34図 整理番号 19-2-313 工事立会実施箇所及び土層断面模式図

第4表 令和2年度工事立会一覧

通し番号	整理番号	周知の埋蔵文化財包蔵地	所在地	対象面積 (㎡)	事業者	事業種別	特記事項
1	17-3-308	N559 遺跡	札幌市西区発寒5条7丁目	1,080.00	札幌市	学校建設	遺構・遺物なし
2	19-3-319	K528 遺跡	札幌市北区百合が原公園	253,140.00	札幌市	公園造成	遺構・遺物なし
3	19-3-007	周知外 (可能性地)	札幌市東区北10条東10丁目	912.00	札幌市	道路	遺構・遺物なし
4	19-3-008	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北1条西21丁目	209.00	札幌市	下水道	遺構・遺物なし
5	19-3-009	周知外 (可能性地)	札幌市東区北13・14条東16丁目	400.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
6	19-3-010	K35 遺跡	札幌市北区新川4条1丁目	1,780.00	札幌市	道路	遺構・遺物なし
7	19-3-011	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北16～18条西15丁目	300.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
8	19-3-012	周知外 (可能性地)	札幌市東区北10条東10・11丁目	200.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
9	20-3-001	周知外 (可能性地)	札幌市北区篠路町上篠路	310.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
10	20-3-002	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北6条西12丁目、北8条西13丁目	44.80	札幌市	下水道	遺構・遺物なし
11	20-3-003	周知外 (可能性地)	札幌市東区北11・12条東9～11丁目	580.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
12	20-3-004	周知外 (可能性地)	札幌市東区本町2条1～3丁目	1,200.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
13	20-3-005	周知外 (可能性地)	札幌市北区篠路町上篠路	880.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
14	20-3-006	周知外 (可能性地)	札幌市東区本町2条2・3丁目	920.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
15	20-3-007	周知外 (可能性地)	札幌市北区麻生町5丁目	39.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
16	20-3-008	周知外 (可能性地)	札幌市北区篠路1条8丁目、百合が原10丁目	2,000.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
17	20-3-009	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北13・14条西15丁目	311.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
18	20-3-010	周知外 (可能性地)	札幌市北区篠路町上篠路	310.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
19	20-3-011	周知外 (可能性地)	札幌市西区二十四軒3条4丁目	72.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
20	20-3-303	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北1条西12丁目	11,639.10	札幌市	その他建物	遺構・遺物なし
21	20-3-304	周知外 (可能性地)	札幌市西区八軒10条東5丁目	70.00	札幌市	その他開発	遺構・遺物なし
22	20-3-313	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北3条西18丁目	203.00	札幌市	公園造成	遺構・遺物なし
23	20-3-314	K39 遺跡	札幌市北区北7条西7丁目	43.00	札幌市	その他建物	令和2年度立会予定
24	19-2-313	S228 遺跡	札幌市白石区北郷4条5丁目	224.79	民間会社	個人住宅	縄文土器、石器
25	19-2-314	N425 遺跡	札幌市西区二十四軒2条2丁目	3,322.05	医療法人	その他建物	遺構・遺物なし
26	20-2-001	K439 遺跡	札幌市北区北29条西10丁目	20.10	民間会社	ガス	遺構・遺物なし
27	20-2-002	K443 遺跡	札幌市北区北37条西7丁目	63.90	民間会社	ガス	遺構・遺物なし
28	20-2-003	N427 遺跡	札幌市西区八軒1条東5丁目	61.50	民間会社	ガス	遺構・遺物なし
29	20-2-005	N433 遺跡	札幌市西区八軒5条東3丁目	9.00	民間会社	ガス	令和2年度立会予定
30	20-2-006	K438 遺跡	札幌市北区北29条西11丁目	11.70	民間会社	ガス	令和2年度立会予定
31	20-2-302	周知外 (可能性地)	札幌市西区八軒3条東5丁目	440.00	特殊法人	その他建物	遺構・遺物なし
32	20-2-304	C420 遺跡	札幌市中央区北6条西13丁目	211.52	民間会社	道路	遺構・遺物なし
33	20-2-306	N434 遺跡	札幌市西区八軒6条東5丁目	198.33	民間個人	個人住宅	竪穴住居跡、擦文土器、礫石器
34	20-2-310	K39 遺跡	札幌市北区北7条西7丁目	173.22	民間会社	その他建物	土坑、続縄文土器、石器
35	20-2-312	C430 遺跡	札幌市中央区北16条西16丁目	480.00	特殊法人	その他建物	遺構・遺物なし
36	20-2-316	K496 遺跡	札幌市北区屯田町	760.16	民間会社	電気	遺構・遺物なし

※周知の埋蔵文化財包蔵地に該当するものの内、「遺構・遺物なし」は抄録未掲載。



A 整理番号 19-3-315 事業地近景（北東から）



B 整理番号 19-3-315 事業地近景（南西から）



C 整理番号 19-3-317 事業地近景（南西から）



D 整理番号 19-3-318 事業地近景（北東から）



E 整理番号 20-3-301 事業地近景（南東から）



F 整理番号 20-3-301 事業地近景（北東から）



G 整理番号 20-3-310 事業地近景（北から）



H 整理番号 20-3-310 事業地近景（西から）

図版 2 整理番号 14-3-312 試掘調査 (A ~ D)、整理番号 15-3-322 試掘調査 (E ~ H)



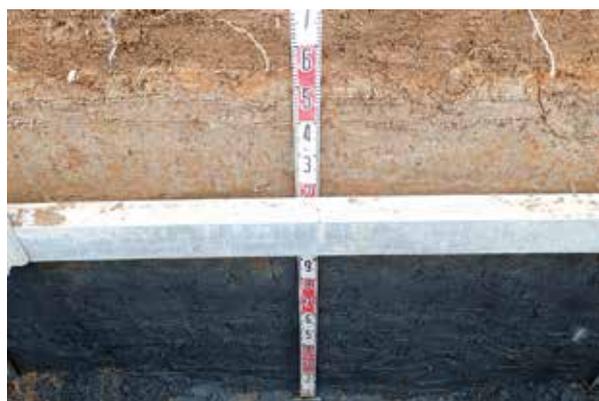
A 事業地近景 (東から)



B TT73-49 土層断面



C TT72-49 土層断面



D TT73-67 土層断面



E 事業地近景 (南から)



F TT29-91 土層断面



G TT29-93 土層断面



H TT29-95 土層断面



A 事業地近景 (北から)



B TT001 土層断面



C TT004 土層断面



D TT007 土層断面



E 事業地近景 (南から)



F TT06-10 土層断面



G TT07-07 土層断面



H TT10-05 土層断面

図版 4 整理番号 20-3-306 試掘調査 (A ~ D)、整理番号 20-3-307 試掘調査 (E ~ H)



A 事業地近景 (南西から)



B TT01-11 土層断面



C TT04-15 土層断面



D TT06-11 土層断面



E 事業地近景 (南東から)



F TT07-15 土層断面



G TT08-17 土層断面



H TT10-19 土層断面



A 事業地近景 (北から)



B TT001 土層断面



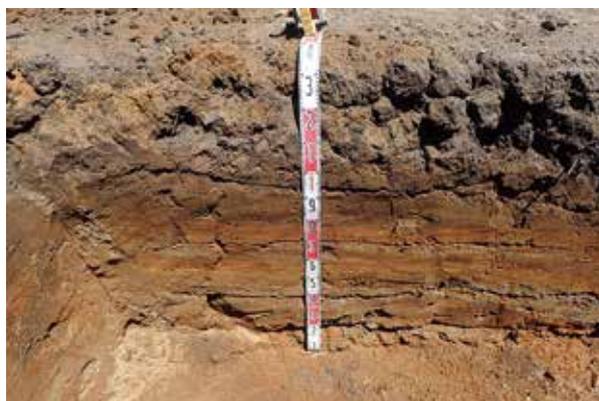
C TT005 土層断面



D TT008 土層断面



E 事業地近景 (南東から)



F TT002 土層断面



G TT006 土層断面



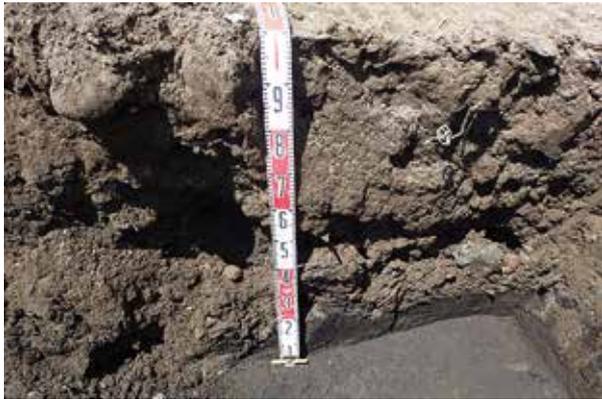
H TT007 土層断面



A 事業地近景 (南西から)



B TT002 土層断面



C TT003 土層断面



D TT004 土層断面



E 事業地近景 (北東から)



F TT007 竪穴住居跡土層断面 (南東から)



G 竪穴住居跡土層断面 (南から)



H 竪穴住居跡調査状況 (北西から)



A 竪穴住居跡 FU01 発見状況 (北から)



B 竪穴住居跡 FU01 土層断面 (西から)



C 竪穴住居跡 HE01 発見状況 (北西から)



D 竪穴住居跡 DB01 発見状況 (北西から)



E 竪穴住居跡 PH01 土層断面 (北から)



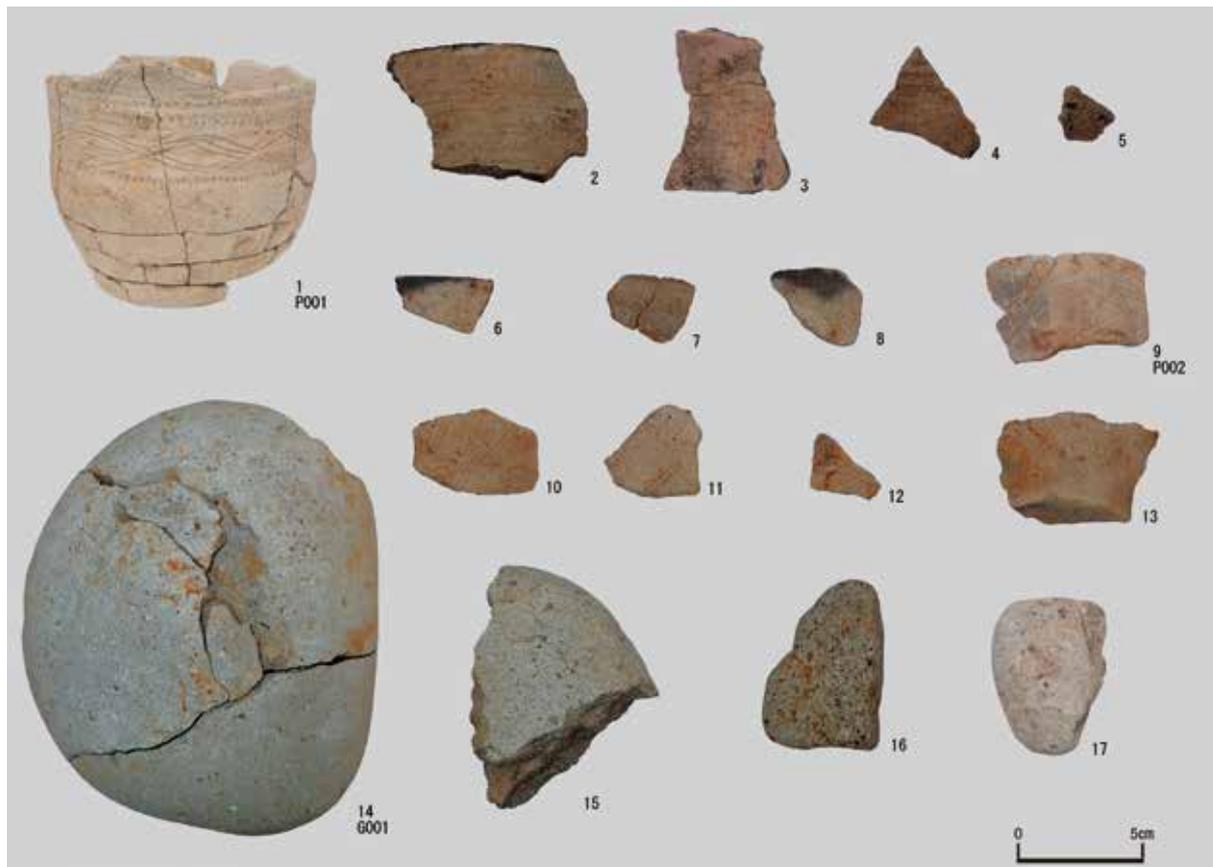
F 竪穴住居跡 PH02 土層断面 (北から)



G 竪穴住居跡遺物発見状況 (西から)



H 竪穴住居跡完掘状況 (北から)



A 試掘調査・工事立会発見遺物



B 事業地近景 (南西から)



C TT002 土層断面



D TT005 土層断面



E TT006 土層断面



A 事業地近景 (南東から)



B TT002 土層断面



C TT003 土層断面



D TT004 土層断面



E 事業地近景 (南から)



F TT002 土層断面



G TT003 土層断面



H TT007 土層断面

図版 10 整理番号 20-2-310 試掘調査・工事立会 (1) (A ~ H)



A 事業地近景 (南西から)



B 第1号土坑 (PT01) 完掘状況 (西から)



C 第2・9号土坑 (PT02・09) 土層断面 (西から)



D 第3号土坑 (PT03) 土層断面 (西から)



E 第4号土坑 (PT04) 土層断面 (西から)



F 第5号土坑 (PT05) 土層断面 (西から)



G 第6・11号土坑 (PT06・11) 土層断面 (西から)



H 第7号土坑 (PT07) 土層断面 (西から)



A 第 8 号土坑 (PT08) 土層断面 (北東から)



B 第 10 号土坑 (PT10) 土層断面 (北から)



C 第 12 号土坑 (PT12) 完掘状況 (東から)



D 第 13 号土坑 (PT13) 土層断面 (西から)



E 第 14 号土坑 (PT14) 土層断面 (南から)



F 第 15 号土坑 (PT15) 土層断面 (南から)



G 第 16 号土坑 (PT16) 土層断面 (南から)



H 第 17 号土坑 (PT17) 土層断面 (東から)



A 第 18 号土坑 (PT18) 土層断面 (東から)



B 第 19 号土坑 (PT19) 土層断面 (南東から)



C 第 20 号土坑 (PT20) 土層断面 (南から)



D 第 21 号土坑 (PT21) 土層断面 (南西から)



E 第 22 号土坑 (PT22) 土層断面 (西から)



F 第 23 号土坑 (PT23) 土層断面 (西から)



G 第 24 号土坑 (PT24) 土層断面 (南から)



H 第 25 号土坑 (PT25) 土層断面 (南から)



A 第 26 号土坑 (PT26) 土層断面 (西から)



B 第 27 号土坑 (PT27) 土層断面 (南から)



C 第 28 号土坑 (PT28) 土層断面 (南から)



D 炉跡 (HE01・02) 検出状況 (東から)



E 炉跡 (HE03) 検出状況 (東から)



F 炉跡 (HE04) 検出状況 (西から)



G 炉跡 (HE05) 検出状況 (南から)



H 炉跡 (HE06) 検出状況 (東から)



A 土坑発見土器



A 土坑発見石器



A 発掘区発見土器 (1)



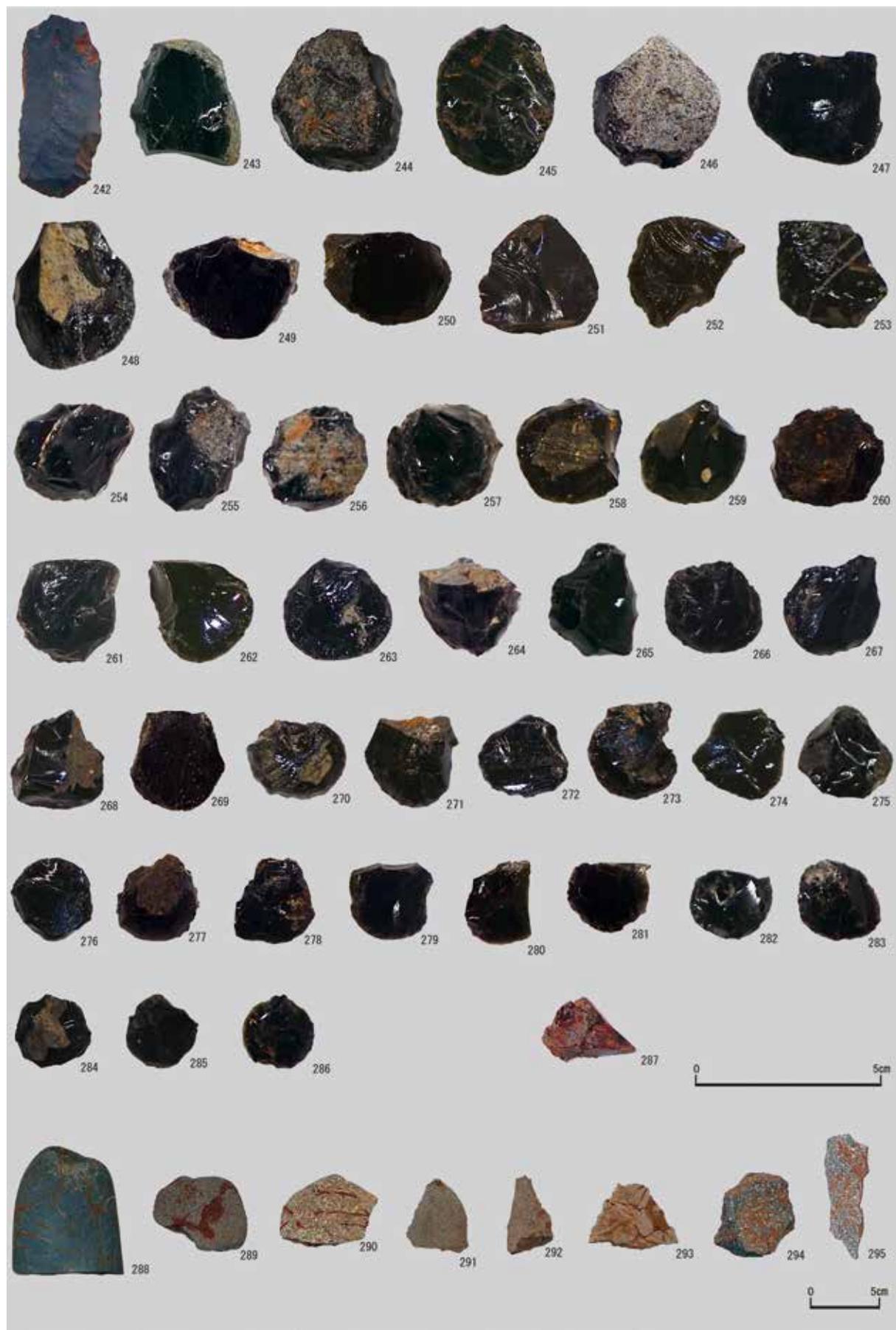
A 発掘区発見土器 (2)



A 発掘区発見土器 (3)



A 発掘区発見土器 (4)



A 発掘区発見石器



A 事業地近景 (北東から)



B TT002 土層断面



C TT004 土層断面



D TT006 土層断面



E 事業地近景 (南西から)



F TT22-04 土層断面



G TT27-04 土層断面



H TT28-06 土層断面

図版 22 整理番号 20-2-314 試掘調査 (A ~ D)、整理番号 20-2-315 試掘調査 (E ~ H)



A 事業地近景 (北から)



B TT06-07 土層断面



C TT10-06 土層断面



D TT11-12 土層断面



E 事業地近景 (北西から)



F TT01-01 土層断面



G TT04-02 土層断面



H TT06-02 土層断面



A 事業地近景 (南西から)



B TT001 土層断面



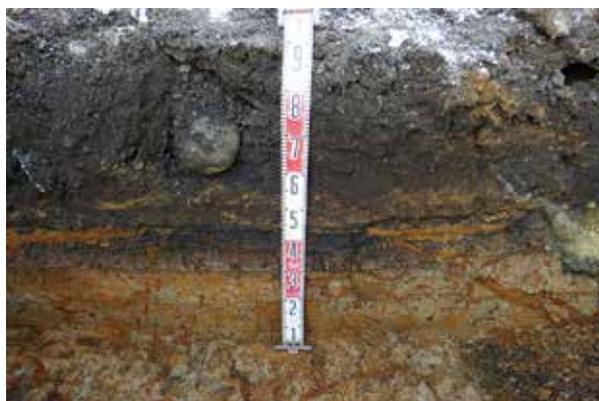
C TT002 土層断面



D TT005 土層断面



E 事業地近景 (西から)



F TT002 土層断面



G TT004 土層断面



H TT005 土層断面

図版 24 整理番号 19-2-313 工事立会 (A ~ E)



A 事業地近景 (南東から)



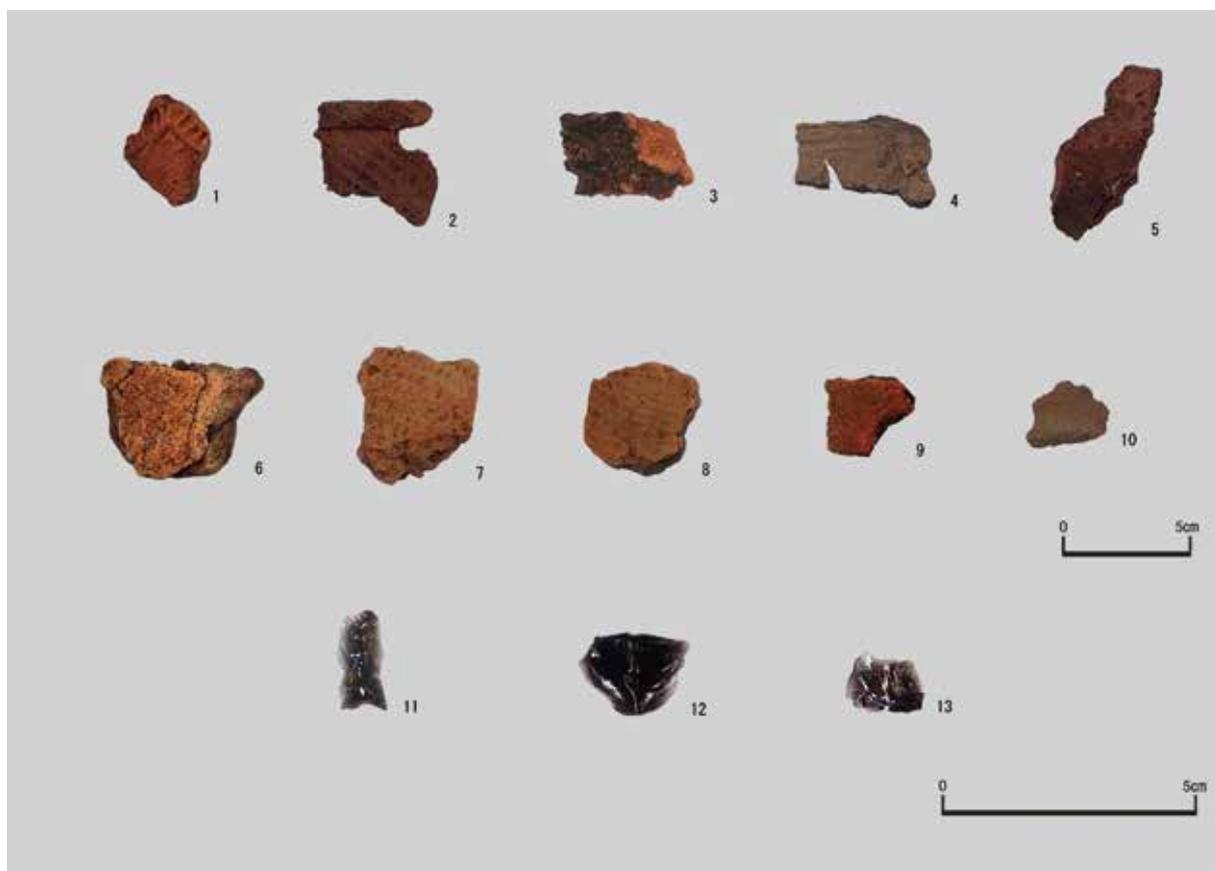
B 記録地点 No. 03 土層断面



C 記録地点 No. 05 土層断面



D 遺物発見状況 (北から)



E 工事立会発見遺物

報告書抄録

ふりがな	れいわにねんど ちょうさほうこくしょ							
書名	令和2年度調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	市内遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	13							
編著者名	田中 亮・秋山 洋司							
編集機関	札幌市教育委員会（札幌市市民文化局文化財課埋蔵文化財係）							
所在地	〒064-0922 北海道札幌市中央区南22条西13丁目 TEL 011-512-5430 FAX 011-512-5467							
発行年月日	西暦 2021年3月18日							
所収遺跡名	所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
けいさんじゅうごいせき K35 遺跡	さっぽろしきたくしんかわごじょういっちょうめ 札幌市北区新川5条1丁目	01102	35	43° 05' 59"	141° 19' 31"	2020/11/30	—	個人住宅
えいちさんじゅうはちいせき H38 遺跡	さっぽろしひがしくきたさんじゅうにじょう ひがしごじょうめ 札幌市東区北32条東5丁目	01103	38	43° 06' 00"	141° 21' 16"	2020/5/28	—	個人住宅
				43° 06' 00"	141° 21' 17"	2020/5/28	—	個人住宅
				43° 06' 02"	141° 21' 18"	2020/12/14	—	個人住宅
けいさんじゅうきゅういせき K39 遺跡	さっぽろしきたくきたななじょうにしななちょうめ 札幌市北区北7条西7丁目	01102	39	43° 04' 08"	141° 20' 40"	2020/7/6・ 13・14・ 15、9/30	—	その他建物
えぬひやくごじゅうはちいせき N158 遺跡	さっぽろしにしくにじゅうよんけんさんじょう さんちょうめ 札幌市西区二十四軒3条3丁目	01107	158	43° 04' 28"	141° 18' 37"	2020/5/21	—	住宅
えずにひやくにじゅうはちいせき S228 遺跡	さっぽろししろいしくきたごじょうごじょうめ 札幌市白石区北郷4条5丁目	01104	228	43° 03' 30"	141° 25' 14"	2020/3/9、 5/1	—	個人住宅
えぬさんびやくじゅうさんいせき N313 遺跡	さっぽろしにいねくまえたはちじょうじゅうちょうめ 札幌市手稲区前田8条10丁目	01109	313	43° 07' 45"	141° 15' 26"	2020/9/24	—	その他建物
えぬよんひやくにじゅうごいせき N425 遺跡	さっぽろしにしくにじゅうよんけんにじょうにちょうめ 札幌市西区二十四軒2条2丁目	01107	425	43° 04' 29"	141° 18' 52"	2020/4/24	—	その他建物
しいよんひやくさんじゅういせき C430 遺跡	さっぽろしちゅうおうくきたじゅうろくじょう にしじゅうろくちょうめ 札幌市中央区北16条西16丁目	01101	430	43° 04' 45"	141° 19' 25"	2020/9/28・ 29	—	その他建物
えぬよんひやくさんじゅうよんいせき N434 遺跡	さっぽろしにしくほちけんろくじょうひがしごじょうめ 札幌市西区八軒6条東5丁目	01107	434	43° 04' 58"	141° 19' 28"	2020/6/15・ 18・19、 7/13	—	個人住宅
けいよんひやくさんじゅうなないせき K437 遺跡	さっぽろしきたくきたにじゅうろくじょう にしじゅうちょうめ 札幌市北区北26条西15丁目	01102	437	43° 05' 38"	141° 19' 35"	2020/7/30	—	その他建物
けいよんひやくさんじゅうはちいせき K438 遺跡	さっぽろしきたくきたにじゅうきゅうじょう にしじゅうちょうめ 札幌市北区北29条西10丁目	01102	438	43° 05' 44"	141° 19' 57"	2020/6/4	—	その他建物
けいよんひやくよんじゅうさんいせき K443 遺跡	さっぽろしきたくきたさんじゅうななじょう にしななちょうめ 札幌市北区北37条西7丁目	01102	443	43° 06' 19"	141° 20' 11"	2020/6/11	—	住宅
けいよんひやくきゅうじゅうろくいせき K496 遺跡	さっぽろしきたくとんでんちょう～きたくにしぼらと 札幌市北区屯田町～北区西茨戸	01102	496	43° 08' 44"	141° 19' 20"	2020/10/4・ 5・6・7	—	道路
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
K35 遺跡	集落跡	擦文				遺構・遺物なし		
H38 遺跡	集落跡	縄文				遺構・遺物なし		
K39 遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文・アイヌ文化期		土坑	続縄文土器、石器			
N158 遺跡	遺物包含地	擦文				遺構・遺物なし		
S228 遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文			縄文土器、石器			
N313 遺跡	遺物包含地	縄文				遺構・遺物なし		
N425 遺跡	集落跡	擦文				遺構・遺物なし		
C430 遺跡	集落跡	擦文				遺構・遺物なし		
N434 遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文		竪穴住居跡	擦文土器、礫石器			
K437 遺跡	集落跡	擦文				遺構・遺物なし		
K438 遺跡	集落跡	擦文				遺構・遺物なし		
K443 遺跡	集落跡	擦文				遺構・遺物なし		
K496 遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文				遺構・遺物なし		

市内遺跡発掘調査報告書 13

令和3年3月11日 印刷
令和3年3月18日 発行

令和2年度 調査報告書

発行者 札幌市教育委員会
060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目
編集 札幌市埋蔵文化財センター
064-0922 札幌市中央区南22条西13丁目
TEL 011(512)5430
FAX 011(512)5467
印刷 社会福祉法人共友会

